

島根原子力発電所第2号機 審査資料	
資料番号	NS2-添 1-017-03-13
提出年月日	2022年9月8日

島根原子力発電所第2号機 工事計画審査資料  
その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備のうち  
消火設備  
(消火系 (ハロゲン化物消火設備 (ガスタービン発電機  
建物)))  
(添付書類)

2022年9月

中国電力株式会社

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

## VI-1 説明書

### VI-1-1 各発電用原子炉施設に共通の説明書

#### VI-1-1-5 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書

VI-1-1-5-8 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書（その他発電用原子炉の附属施設）

VI-1-1-5-8-2 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書（その他発電用原子炉の附属施設（火災防護設備））

## VI-6 図面

### 9.3 火災防護設備

#### 9.3.2 消火設備

##### 9.3.2.2 ハロゲン化物消火設備

###### 9.3.2.2.7 ガスタービン発電機建物

- ・第9-3-2-2-7-1-1図 消火設備に係る機器の配置を明示した図面（ハロゲン化物消火設備（ガスタービン発電機建物））
- ・第9-3-2-2-7-2-1図 消火設備に係る主配管の配置を明示した図面（ハロゲン化物消火設備（ガスタービン発電機建物））（その1）
- ・第9-3-2-2-7-2-2図 消火設備に係る主配管の配置を明示した図面（ハロゲン化物消火設備（ガスタービン発電機建物））（その2）
- ・第9-3-2-2-7-2-3図 消火設備に係る主配管の配置を明示した図面（ハロゲン化物消火設備（ガスタービン発電機建物））（その3）
- ・第9-3-2-2-7-2-4図 消火設備に係る主配管の配置を明示した図面（ハロゲン化物消火設備（ガスタービン発電機建物））（その4）
- ・第9-3-2-2-7-2-5図 消火設備に係る主配管の配置を明示した図面（ハロゲン化物消火設備（ガスタービン発電機建物））（その5）
- ・第9-3-2-2-7-2-6図 消火設備に係る主配管の配置を明示した図面（ハロゲン化物消火設備（ガスタービン発電機建物））（その6）
- ・第9-3-2-2-7-2-7図 消火設備に係る主配管の配置を明示した図面（ハロゲン化物消火設備（ガスタービン発電機建物））（その7）
- ・第9-3-2-2-7-2-8図 消火設備に係る主配管の配置を明示した図面（ハロゲン化物消火設備（ガスタービン発電機建物））（その8）
- ・第9-3-2-2-7-3-1図 消火設備系統図（ハロゲン化物消火設備（ガスタービン発電機建物））（その1）
- ・第9-3-2-2-7-3-2図 消火設備系統図（ハロゲン化物消火設備（ガスタービン発電機建物））（その2）
- ・第9-3-2-2-7-4-1図 2号-ガスタービン発電機制御盤室，2号-蓄電池室（北側），2号-蓄電池室（南側），2号-ハッチ室，2号-蓄電池室空調機室，2号-電気品室，2号-常用空調機室用ハロゲン化物ボンベ構造図

- 第9-3-2-2-7-4-2図 2号-ガスタービン発電機室用ハロゲン化物ボンベ構造図
- 第9-3-2-2-7-4-3図 予備-ガスタービン発電機制御盤室, 予備-蓄電池室(北側), 予備-蓄電池室(南側), 予備-ハッチ室, 予備-蓄電池室空調機室, 予備-電気品室, 予備-常用空調機室用ハロゲン化物ボンベ構造図
- 第9-3-2-2-7-4-4図 予備-ガスタービン発電機室用ハロゲン化物ボンベ構造図

2.1.1.2.7 ガスタービン発電機建物

名 称	2号-ガスタービン発電機制御盤室, 2号-蓄電池室 (北側), 2号-蓄電池室 (南側), 2号-ハッチ室, 2号-蓄電池室空調機室, 2号-電気品室, 2号-常用空調機室用ハロゲン化物ボンベ	
容 量	ℓ/個	68 以上 (68)
最 高 使 用 圧 力	MPa	5.2
最 高 使 用 温 度	℃	40
個 数	—	9
<p><b>【設 定 根 拠】</b> (概 要)</p> <p>火災時に煙の充満又は放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する 2 号-ガスタービン発電機制御盤室, 2 号-蓄電池室 (北側), 2 号-蓄電池室 (南側), 2 号-ハッチ室, 2 号-蓄電池室空調機室, 2 号-電気品室, 2 号-常用空調機室用ハロゲン化物ボンベは, 以下の機能を有する。</p> <p>ハロゲン化物ボンベは, 火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう, 火災の影響を限定し, 早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量の設定根拠</p> <p>ハロゲン化物ボンベの容量は, 高圧ガス保安法の適合品である一般汎用品型のハロゲン化物ボンベを使用することから, 当該ボンベの容量はメーカーにて定めた容量である 68ℓ/個以上とする。</p> <p>公称値については要求される容量と同じ 68ℓ/個とする。</p> <p>2. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p>ハロゲン化物ボンベの最高使用圧力は, ボンベを設置する場所の周囲最高温度 40℃における容器内圧と同じ 5.2MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度の設定根拠</p> <p>ハロゲン化物ボンベの最高使用温度は, 消防法施行規則第 20 条第 4 項第四号に基づき, 40℃とする。</p>		

**【設 定 根 拠】**（続き）

4. 個数の設定根拠

ハロゲン化物ポンベは、火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう、火災の影響を限定し、早期の消火を行うために、各消火対象区画のうち最も多くの消火剤量を必要とするポンベ個数\*である9個のポンベを設置する設計とする。

注記\*：消防法施行規則第20条第3項において定められている消火に必要な消火剤量により算出。

名 称	2号-ガスタービン発電機室用ハロゲン化物ボンベ	
容 量	ℓ/個	68 以上 (68)
最 高 使 用 圧 力	MPa	5.2
最 高 使 用 温 度	℃	40
個 数	—	8
<p><b>【設 定 根 拠】</b> (概 要)</p> <p>火災時に煙の充満又は放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する 2 号-ガスタービン発電機室用ハロゲン化物ボンベは、以下の機能を有する。</p> <p>ハロゲン化物ボンベは、火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう、火災の影響を限定し、早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量の設定根拠</p> <p>ハロゲン化物ボンベの容量は、高圧ガス保安法の適合品である一般汎用品型のハロゲン化物ボンベを使用することから、当該ボンベの容量はメーカーにて定めた容量である 68ℓ/個以上とする。</p> <p>公称値については要求される容量と同じ 68ℓ/個とする。</p> <p>2. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p>ハロゲン化物ボンベの最高使用圧力は、ボンベを設置する場所の周囲最高温度 40℃における容器内圧と同じ 5.2MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度の設定根拠</p> <p>ハロゲン化物ボンベの最高使用温度は、消防法施行規則第 20 条第 4 項第四号に基づき、40℃とする。</p> <p>4. 個数の設定根拠</p> <p>ハロゲン化物ボンベは、火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう、火災の影響を限定し、早期の消火を行うために、消防法で要求される必要なボンベ個数*である 8 個のボンベを設置する設計とする。</p> <p>注記*：消防法施行規則第 20 条第 3 項において定められている消火に必要な消火剤量により算出。</p>		

名 称	予備-ガスタービン発電機制御盤室，予備-蓄電池室（北側），予備-蓄電池室（南側），予備-ハッチ室，予備-蓄電池室空調機室，予備-電気品室，予備-常用空調機室用ハロゲン化物ボンベ	
容 量	ℓ/個	68 以上 (68)
最 高 使 用 圧 力	MPa	5.2
最 高 使 用 温 度	℃	40
個 数	—	9
<p><b>【設 定 根 拠】</b> (概 要)</p> <p>火災時に煙の充満又は放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する予備-ガスタービン発電機制御盤室，予備-蓄電池室（北側），予備-蓄電池室（南側），予備-ハッチ室，予備-蓄電池室空調機室，予備-電気品室，予備-常用空調機室用ハロゲン化物ボンベは，以下の機能を有する。</p> <p>ハロゲン化物ボンベは，火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう，火災の影響を限定し，早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量の設定根拠</p> <p>ハロゲン化物ボンベの容量は，高圧ガス保安法の適合品である一般汎用品型のハロゲン化物ボンベを使用することから，当該ボンベの容量はメーカーにて定めた容量である 68ℓ/個以上とする。</p> <p>公称値については要求される容量と同じ 68ℓ/個とする。</p> <p>2. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p>ハロゲン化物ボンベの最高使用圧力は，ボンベを設置する場所の周囲最高温度 40℃における容器内圧と同じ 5.2MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度の設定根拠</p> <p>ハロゲン化物ボンベの最高使用温度は，消防法施行規則第 20 条第 4 項第四号に基づき，40℃とする。</p>		

**【設 定 根 拠】**（続き）

4. 個数の設定根拠

ハロゲン化物ボンベは、火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう、火災の影響を限定し、早期の消火を行うために、各消火対象区画のうち最も多くの消火剤量を必要とするボンベ個数\*である9個のボンベを設置する設計とする。

注記\*：消防法施行規則第20条第3項において定められている消火に必要な消火剤量により算出。



名	称	予備-ガスタービン発電機室用ハロゲン化物ポンベ
容	量	ℓ/個
最高使用圧力	MPa	68 以上 (68)
最高使用温度	℃	5.2
個	数	40
		8
<p><b>【設定根拠】</b> (概要)</p> <p>火災時に煙の充満又は放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する予備-ガスタービン発電機室用ハロゲン化物ポンベは、以下の機能を有する。</p> <p>ハロゲン化物ポンベは、火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう、火災の影響を限定し、早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量の設定根拠</p> <p>ハロゲン化物ポンベの容量は、高圧ガス保安法の適合品である一般汎用品型のハロゲン化物ポンベを使用することから、当該ポンベの容量はメーカーにて定めた容量である 68ℓ/個以上とする。</p> <p>公称値については要求される容量と同じ 68ℓ/個とする。</p> <p>2. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p>ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力は、ポンベを設置する場所の周囲最高温度 40℃における容器内圧と同じ 5.2MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度の設定根拠</p> <p>ハロゲン化物ポンベの最高使用温度は、消防法施行規則第 20 条第 4 項第四号に基づき、40℃とする。</p> <p>4. 個数の設定根拠</p> <p>ハロゲン化物ポンベは、火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう、火災の影響を限定し、早期の消火を行うために、消防法で要求される必要なポンベ個数*である 8 個のポンベを設置する設計とする。</p> <p>注記*：消防法施行規則第 20 条第 3 項において定められている消火に必要な消火剤量により算出。</p>		

名 称	2号-ガスタービン発電機制御盤室, 2号-蓄電池室(北側), 2号-蓄電池室(南側), 2号-ハッチ室, 2号-蓄電池室空調機室, 2号-電気品室, 2号-常用空調機室用ハロゲン化物ボンベ出口ヘッダ管	
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	76.3
<p><b>【設定根拠】</b> (概要)</p> <p>本配管は, 2号-ガスタービン発電機制御盤室, 2号-蓄電池室(北側), 2号-蓄電池室(南側), 2号-ハッチ室, 2号-蓄電池室空調機室, 2号-電気品室, 2号-常用空調機室用ハロゲン化物ボンベのヘッダ管であり, 2号-ガスタービン発電機制御盤室, 2号-蓄電池室(北側), 2号-蓄電池室(南側), 2号-ハッチ室, 2号-蓄電池室空調機室, 2号-電気品室, 2号-常用空調機室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>本配管の最高使用圧力の設定根拠をP1, 最高使用温度の設定根拠をT1, 外径の設定根拠をD1として以下に示す。</p> <p>消火系主配管の設計仕様を表2.1.1.2.7-1ハロゲン化物消火設備(ガスタービン発電機建物)主配管の設計仕様表に示す。</p> <p>1. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p><u>P1 : 5.2MPa</u></p> <p>本配管の最高使用圧力は, 2号-ガスタービン発電機制御盤室, 2号-蓄電池室(北側), 2号-蓄電池室(南側), 2号-ハッチ室, 2号-蓄電池室空調機室, 2号-電気品室, 2号-常用空調機室用ハロゲン化物ボンベの最高使用圧力と同じ5.2MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度の設定根拠</p> <p><u>T1 : 40℃</u></p> <p>本配管の最高使用温度は, 2号-ガスタービン発電機制御盤室, 2号-蓄電池室(北側), 2号-蓄電池室(南側), 2号-ハッチ室, 2号-蓄電池室空調機室, 2号-電気品室, 2号-常用空調機室用ハロゲン化物ボンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p>		

【設定根拠】（続き）

3. 外径の設定根拠

(1) 配管

D1 : 76.3mm

本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.9MPa以上\*<sup>1</sup>及び消火に必要なハロン1301ガス量\*<sup>2</sup>を30秒以内\*<sup>3</sup>に放射可能であることをメーカーにて確認している76.3mmとする。

注記\*<sup>1</sup>：消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力。

\*<sup>2</sup>：消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量。

\*<sup>3</sup>：消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間。

名 称		2号-常用空調機室供給ライン分岐点 ～ 2号-常用空調機室
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	42.7
<p><b>【設 定 根 拠】</b> (概 要)</p> <p>本配管は、2号-ガスタービン発電機制御盤室、2号-蓄電池室（北側）、2号-蓄電池室（南側）、2号-ハッチ室、2号-蓄電池室空調機室、2号-電気品室、2号-常用空調機室用ハロゲン化物ポンベのヘッダ管と2号-常用空調機室を接続する配管であり、2号-常用空調機室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>本配管の最高使用圧力の設定根拠をP1、最高使用温度の設定根拠をT1、外径の設定根拠をD2として以下に示す。</p> <p>消火系主配管の設計仕様を表2.1.1.2.7-1 ハロゲン化物消火設備（ガスタービン発電機建物）主配管の設計仕様表に示す。</p> <p>1. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p><u>P1 : 5.2MPa</u></p> <p>本配管の最高使用圧力は、2号-ガスタービン発電機制御盤室、2号-蓄電池室（北側）、2号-蓄電池室（南側）、2号-ハッチ室、2号-蓄電池室空調機室、2号-電気品室、2号-常用空調機室用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ5.2MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度の設定根拠</p> <p><u>T1 : 40℃</u></p> <p>本配管の最高使用温度は、2号-ガスタービン発電機制御盤室、2号-蓄電池室（北側）、2号-蓄電池室（南側）、2号-ハッチ室、2号-蓄電池室空調機室、2号-電気品室、2号-常用空調機室用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p>		

【設定根拠】（続き）

3. 外径の設定根拠

(1) 配管

D2 : 42.7mm

本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.9MPa以上\*1及び消火に必要なハロン1301ガス量\*2を30秒以内\*3に放射可能であることをメーカーにて確認している42.7mmとする。

注記\*1：消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力。

\*2：消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量。

\*3：消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間。

名 称		2号-電気品室供給ライン分岐点 ～ 2号-電気品室
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	76.3
<p><b>【設 定 根 拠】</b> (概 要)</p> <p>本配管は、2号-ガスタービン発電機制御盤室、2号-蓄電池室（北側）、2号-蓄電池室（南側）、2号-ハッチ室、2号-蓄電池室空調機室、2号-電気品室、2号-常用空調機室用ハロゲン化物ポンベのヘッダ管と2号-電気品室を接続する配管であり、2号-電気品室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>本配管の最高使用圧力の設定根拠をP1、最高使用温度の設定根拠をT1、外径の設定根拠をD1として以下に示す。</p> <p>消火系主配管の設計仕様を表2.1.1.2.7-1 ハロゲン化物消火設備（ガスタービン発電機建物）主配管の設計仕様表に示す。</p> <p>1. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p><u>P1 : 5.2MPa</u></p> <p>本配管の最高使用圧力は、2号-ガスタービン発電機制御盤室、2号-蓄電池室（北側）、2号-蓄電池室（南側）、2号-ハッチ室、2号-蓄電池室空調機室、2号-電気品室、2号-常用空調機室用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ5.2MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度の設定根拠</p> <p><u>T1 : 40℃</u></p> <p>本配管の最高使用温度は、2号-ガスタービン発電機制御盤室、2号-蓄電池室（北側）、2号-蓄電池室（南側）、2号-ハッチ室、2号-蓄電池室空調機室、2号-電気品室、2号-常用空調機室用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p>		

【設定根拠】（続き）

3. 外径の設定根拠

(1) 配管

D1 : 76.3mm

本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.9MPa以上\*1及び消火に必要なハロン1301ガス量\*2を30秒以内\*3に放射可能であることをメーカーにて確認している76.3mmとする。

注記\*1：消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力。

\*2：消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量。

\*3：消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間。

名 称	2号-ガスタービン発電機制御盤室供給ライン分岐点 ～ 2号-ガスタービン発電機制御盤室	
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	76.3
<p><b>【設 定 根 拠】</b> (概 要)</p> <p>本配管は、2号-ガスタービン発電機制御盤室、2号-蓄電池室（北側）、2号-蓄電池室（南側）、2号-ハッチ室、2号-蓄電池室空調機室、2号-電気品室、2号-常用空調機室用ハロゲン化物ポンベのヘッダ管と2号-ガスタービン発電機制御盤室を接続する配管であり、2号-ガスタービン発電機制御盤室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>本配管の最高使用圧力の設定根拠をP1、最高使用温度の設定根拠をT1、外径の設定根拠をD1として以下に示す。</p> <p>消火系主配管の設計仕様を表2.1.1.2.7-1 ハロゲン化物消火設備（ガスタービン発電機建物）主配管の設計仕様表に示す。</p> <p>1. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p><u>P1 : 5.2MPa</u></p> <p>本配管の最高使用圧力は、2号-ガスタービン発電機制御盤室、2号-蓄電池室（北側）、2号-蓄電池室（南側）、2号-ハッチ室、2号-蓄電池室空調機室、2号-電気品室、2号-常用空調機室用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ5.2MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度の設定根拠</p> <p><u>T1 : 40℃</u></p> <p>本配管の最高使用温度は、2号-ガスタービン発電機制御盤室、2号-蓄電池室（北側）、2号-蓄電池室（南側）、2号-ハッチ室、2号-蓄電池室空調機室、2号-電気品室、2号-常用空調機室用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p>		



【設定根拠】（続き）

3. 外径の設定根拠

(1) 配管

D1 : 76.3mm

本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.9MPa以上\*<sup>1</sup>及び消火に必要なハロン1301ガス量\*<sup>2</sup>を30秒以内\*<sup>3</sup>に放射可能であることをメーカーにて確認している76.3mmとする。

注記\*1：消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力。

\*2：消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量。

\*3：消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間。

名 称		2号-蓄電池室（北側）供給ライン分岐点 ～ 2号-蓄電池室（北側）
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	34.0
<p><b>【設 定 根 拠】</b> (概 要)</p> <p>本配管は、2号-ガスタービン発電機制御盤室、2号-蓄電池室（北側）、2号-蓄電池室（南側）、2号-ハッチ室、2号-蓄電池室空調機室、2号-電気品室、2号-常用空調機室用ハロゲン化物ポンベのヘッダ管と2号-蓄電池室（北側）を接続する配管であり、2号-蓄電池室（北側）内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>本配管の最高使用圧力の設定根拠をP1、最高使用温度の設定根拠をT1、外径の設定根拠をD3として以下に示す。</p> <p>消火系主配管の設計仕様を表2.1.1.2.7-1ハロゲン化物消火設備（ガスタービン発電機建物）主配管の設計仕様表に示す。</p> <p>1. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p><u>P1 : 5.2MPa</u></p> <p>本配管の最高使用圧力は、2号-ガスタービン発電機制御盤室、2号-蓄電池室（北側）、2号-蓄電池室（南側）、2号-ハッチ室、2号-蓄電池室空調機室、2号-電気品室、2号-常用空調機室用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ5.2MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度の設定根拠</p> <p><u>T1 : 40℃</u></p> <p>本配管の最高使用温度は、2号-ガスタービン発電機制御盤室、2号-蓄電池室（北側）、2号-蓄電池室（南側）、2号-ハッチ室、2号-蓄電池室空調機室、2号-電気品室、2号-常用空調機室用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p>		

【設定根拠】（続き）

3. 外径の設定根拠

(1) 配管

D3 : 34.0mm

本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.9MPa以上\*<sup>1</sup>及び消火に必要なハロン1301ガス量\*<sup>2</sup>を30秒以内\*<sup>3</sup>に放射可能であることをメーカーにて確認している34.0mmとする。

注記\*<sup>1</sup>：消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力。

\*<sup>2</sup>：消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量。

\*<sup>3</sup>：消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間。

名 称	2号-ハッチ室, 2号-蓄電池室空調機室供給ライン分岐点 ～ 2号-ハッチ室, 2号-蓄電池室空調機室	
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	60.5
<p><b>【設 定 根 拠】</b> (概 要)</p> <p>本配管は, 2号-ガスタービン発電機制御盤室, 2号-蓄電池室(北側), 2号-蓄電池室(南側), 2号-ハッチ室, 2号-蓄電池室空調機室, 2号-電気品室, 2号-常用空調機室用ハロゲン化物ポンベのヘッダ管と2号-ハッチ室, 2号-蓄電池室空調機室を接続する配管であり, 2号-ハッチ室, 2号-蓄電池室空調機室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>本配管の最高使用圧力の設定根拠をP1, 最高使用温度の設定根拠をT1, 外径の設定根拠をD4として以下に示す。</p> <p>消火系主配管の設計仕様を表2.1.1.2.7-1ハロゲン化物消火設備(ガスタービン発電機建物)主配管の設計仕様表に示す。</p> <p>1. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p><u>P1 : 5.2MPa</u></p> <p>本配管の最高使用圧力は, 2号-ガスタービン発電機制御盤室, 2号-蓄電池室(北側), 2号-蓄電池室(南側), 2号-ハッチ室, 2号-蓄電池室空調機室, 2号-電気品室, 2号-常用空調機室用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ5.2MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度の設定根拠</p> <p><u>T1 : 40℃</u></p> <p>本配管の最高使用温度は, 2号-ガスタービン発電機制御盤室, 2号-蓄電池室(北側), 2号-蓄電池室(南側), 2号-ハッチ室, 2号-蓄電池室空調機室, 2号-電気品室, 2号-常用空調機室用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p>		

【設定根拠】（続き）

3. 外径の設定根拠

(1) 配管

D4 : 60.5mm

本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.9MPa以上\*<sup>1</sup>及び消火に必要なハロン1301ガス量\*<sup>2</sup>を30秒以内\*<sup>3</sup>に放射可能であることをメーカーにて確認している60.5mmとする。

注記\*<sup>1</sup>：消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力。

\*<sup>2</sup>：消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量。

\*<sup>3</sup>：消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間。

名 称	2号-蓄電池室（南側）供給ライン分岐点 ～ 2号-蓄電池室（南側）	
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	34.0
<p><b>【設 定 根 拠】</b> (概 要)</p> <p>本配管は、2号-ガスタービン発電機制御盤室、2号-蓄電池室（北側）、2号-蓄電池室（南側）、2号-ハッチ室、2号-蓄電池室空調機室、2号-電気品室、2号-常用空調機室用ハロゲン化物ポンベのヘッダ管と2号-蓄電池室（南側）を接続する配管であり、2号-蓄電池室（南側）内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>本配管の最高使用圧力の設定根拠をP1、最高使用温度の設定根拠をT1、外径の設定根拠をD3として以下に示す。</p> <p>消火系主配管の設計仕様を表2.1.1.2.7-1 ハロゲン化物消火設備（ガスタービン発電機建物）主配管の設計仕様表に示す。</p> <p>1. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p><u>P1 : 5.2MPa</u></p> <p>本配管の最高使用圧力は、2号-ガスタービン発電機制御盤室、2号-蓄電池室（北側）、2号-蓄電池室（南側）、2号-ハッチ室、2号-蓄電池室空調機室、2号-電気品室、2号-常用空調機室用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ5.2MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度の設定根拠</p> <p><u>T1 : 40℃</u></p> <p>本配管の最高使用温度は、2号-ガスタービン発電機制御盤室、2号-蓄電池室（北側）、2号-蓄電池室（南側）、2号-ハッチ室、2号-蓄電池室空調機室、2号-電気品室、2号-常用空調機室用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p>		

【設定根拠】（続き）

3. 外径の設定根拠

(1) 配管

D3 : 34.0mm

本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.9MPa以上\*<sup>1</sup>及び消火に必要なハロン1301ガス量\*<sup>2</sup>を30秒以内\*<sup>3</sup>に放射可能であることをメーカーにて確認している34.0mmとする。

注記\*<sup>1</sup>：消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力。

\*<sup>2</sup>：消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量。

\*<sup>3</sup>：消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間。

名 称	2号-ガスタービン発電機室用ハロゲン化物ボンベ ～ 2号-ガスタービン発電機室	
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	76.3
<p><b>【設 定 根 拠】</b> (概 要)</p> <p>本配管は、2号-ガスタービン発電機室用ハロゲン化物ボンベと2号-ガスタービン発電機室を接続する配管であり、2号-ガスタービン発電機室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>本配管の最高使用圧力の設定根拠をP1、最高使用温度の設定根拠をT1、外径の設定根拠をD1として以下に示す。</p> <p>消火系主配管の設計仕様を表2.1.1.2.7-1ハロゲン化物消火設備（ガスタービン発電機建物）主配管の設計仕様表に示す。</p> <p>1. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p><u>P1 : 5.2MPa</u></p> <p>本配管の最高使用圧力は、2号-ガスタービン発電機室用ハロゲン化物ボンベの最高使用圧力と同じ5.2MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度の設定根拠</p> <p><u>T1 : 40℃</u></p> <p>本配管の最高使用温度は、2号-ガスタービン発電機室用ハロゲン化物ボンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径の設定根拠</p> <p>(1) 配管</p> <p><u>D1 : 76.3mm</u></p> <p>本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.9MPa以上*1及び消火に必要なハロン1301ガス量*2を30秒以内*3に放射可能であることをメーカーにて確認している76.3mmとする。</p> <p>注記*1：消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力。</p> <p>*2：消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量。</p> <p>*3：消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間。</p>		



名 称	予備-ガスタービン発電機制御盤室，予備-蓄電池室（北側），予備-蓄電池室（南側），予備-ハッチ室，予備-蓄電池室空調機室，予備-電気品室，予備-常用空調機室用ハロゲン化物ポンベ出口ヘッダ管	
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	76.3
<p><b>【設 定 根 拠】</b>  (概 要)</p> <p>本配管は，予備-ガスタービン発電機制御盤室，予備-蓄電池室（北側），予備-蓄電池室（南側），予備-ハッチ室，予備-蓄電池室空調機室，予備-電気品室，予備-常用空調機室用ハロゲン化物ポンベのヘッダ管であり，予備-ガスタービン発電機制御盤室，予備-蓄電池室（北側），予備-蓄電池室（南側），予備-ハッチ室，予備-蓄電池室空調機室，予備-電気品室，予備-常用空調機室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>本配管の最高使用圧力の設定根拠をP 1，最高使用温度の設定根拠をT 1，外径の設定根拠をD 1として以下に示す。</p> <p>消火系主配管の設計仕様を表 2.1.1.2.7-1 ハロゲン化物消火設備（ガスタービン発電機建物）主配管の設計仕様表に示す。</p> <p>1. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p><u>P 1 : 5.2MPa</u></p> <p>本配管の最高使用圧力は，予備-ガスタービン発電機制御盤室，予備-蓄電池室（北側），予備-蓄電池室（南側），予備-ハッチ室，予備-蓄電池室空調機室，予備-電気品室，予備-常用空調機室用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ 5.2MPa とする。</p> <p>2. 最高使用温度の設定根拠</p> <p><u>T 1 : 40℃</u></p> <p>本配管の最高使用温度は，予備-ガスタービン発電機制御盤室，予備-蓄電池室（北側），予備-蓄電池室（南側），予備-ハッチ室，予備-蓄電池室空調機室，予備-電気品室，予備-常用空調機室用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ 40℃ とする。</p>		

【設定根拠】（続き）

3. 外径の設定根拠

(1) 配管

D1 : 76.3mm

本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.9MPa以上\*1及び消火に必要なハロン1301ガス量\*2を30秒以内\*3に放射可能であることをメーカーにて確認している76.3mmとする。

注記\*1：消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力。

\*2：消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量。

\*3：消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間。

名 称		予備-常用空調機室供給ライン分岐点 ～ 予備-常用空調機室
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	42.7
<p><b>【設 定 根 拠】</b> (概 要)</p> <p>本配管は、予備-ガスタービン発電機制御盤室、予備-蓄電池室（北側）、予備-蓄電池室（南側）、予備-ハッチ室、予備-蓄電池室空調機室、予備-電気品室、予備-常用空調機室用ハロゲン化物ポンベのヘッダ管と予備-常用空調機室を接続する配管であり、予備-常用空調機室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>本配管の最高使用圧力の設定根拠をP 1、最高使用温度の設定根拠をT 1、外径の設定根拠をD 2として以下に示す。</p> <p>消火系主配管の設計仕様を表 2.1.1.2.7-1 ハロゲン化物消火設備（ガスタービン発電機建物）主配管の設計仕様表に示す。</p> <p>1. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p><u>P 1 : 5.2MPa</u></p> <p>本配管の最高使用圧力は、予備-ガスタービン発電機制御盤室、予備-蓄電池室（北側）、予備-蓄電池室（南側）、予備-ハッチ室、予備-蓄電池室空調機室、予備-電気品室、予備-常用空調機室用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ 5.2MPa とする。</p> <p>2. 最高使用温度の設定根拠</p> <p><u>T 1 : 40℃</u></p> <p>本配管の最高使用温度は、予備-ガスタービン発電機制御盤室、予備-蓄電池室（北側）、予備-蓄電池室（南側）、予備-ハッチ室、予備-蓄電池室空調機室、予備-電気品室、予備-常用空調機室用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ 40℃ とする。</p>		

【設定根拠】（続き）

3. 外径の設定根拠

(1) 配管

D2 : 42.7mm

本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.9MPa以上\*1及び消火に必要なハロン1301ガス量\*2を30秒以内\*3に放射可能であることをメーカーにて確認している42.7mmとする。

注記\*1：消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力。

\*2：消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量。

\*3：消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間。

名 称		予備-電気品室供給ライン分岐点 ～ 予備-電気品室
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	76.3
<p><b>【設 定 根 拠】</b></p> <p>(概 要)</p> <p>本配管は、予備-ガスタービン発電機制御盤室、予備-蓄電池室（北側）、予備-蓄電池室（南側）、予備-ハッチ室、予備-蓄電池室空調機室、予備-電気品室、予備-常用空調機室用ハロゲン化物ポンベのヘッダ管と予備-電気品室を接続する配管であり、予備-電気品室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>本配管の最高使用圧力の設定根拠をP1、最高使用温度の設定根拠をT1、外径の設定根拠をD1として以下に示す。</p> <p>消火系主配管の設計仕様を表2.1.1.2.7-1 ハロゲン化物消火設備（ガスタービン発電機建物）主配管の設計仕様表に示す。</p> <p>1. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p><u>P1 : 5.2MPa</u></p> <p>本配管の最高使用圧力は、予備-ガスタービン発電機制御盤室、予備-蓄電池室（北側）、予備-蓄電池室（南側）、予備-ハッチ室、予備-蓄電池室空調機室、予備-電気品室、予備-常用空調機室用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ5.2MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度の設定根拠</p> <p><u>T1 : 40℃</u></p> <p>本配管の最高使用温度は、予備-ガスタービン発電機制御盤室、予備-蓄電池室（北側）、予備-蓄電池室（南側）、予備-ハッチ室、予備-蓄電池室空調機室、予備-電気品室、予備-常用空調機室用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p>		

【設定根拠】（続き）

3. 外径の設定根拠

(1) 配管

D1 : 76.3mm

本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.9MPa以上\*1及び消火に必要なハロン1301ガス量\*2を30秒以内\*3に放射可能であることをメーカーにて確認している76.3mmとする。

注記\*1：消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力。

\*2：消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量。

\*3：消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間。

名	称	予備-ガスタービン発電機制御盤室供給ライン分岐点 ～ 予備-ガスタービン発電機制御盤室	
最高使用圧力	MPa	5.2	
最高使用温度	℃	40	
外	径	mm	76.3
<p><b>【設定根拠】</b></p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、予備-ガスタービン発電機制御盤室、予備-蓄電池室（北側）、予備-蓄電池室（南側）、予備-ハッチ室、予備-蓄電池室空調機室、予備-電気品室、予備-常用空調機室用ハロゲン化物ポンベのヘッダ管と予備-ガスタービン発電機制御盤室を接続する配管であり、予備-ガスタービン発電機制御盤室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>本配管の最高使用圧力の設定根拠をP 1、最高使用温度の設定根拠をT 1、外径の設定根拠をD 1として以下に示す。</p> <p>消火系主配管の設計仕様を表 2.1.1.2.7-1 ハロゲン化物消火設備（ガスタービン発電機建物）主配管の設計仕様表に示す。</p> <p>1. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p><u>P 1 : 5.2MPa</u></p> <p>本配管の最高使用圧力は、予備-ガスタービン発電機制御盤室、予備-蓄電池室（北側）、予備-蓄電池室（南側）、予備-ハッチ室、予備-蓄電池室空調機室、予備-電気品室、予備-常用空調機室用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ 5.2MPa とする。</p> <p>2. 最高使用温度の設定根拠</p> <p><u>T 1 : 40℃</u></p> <p>本配管の最高使用温度は、予備-ガスタービン発電機制御盤室、予備-蓄電池室（北側）、予備-蓄電池室（南側）、予備-ハッチ室、予備-蓄電池室空調機室、予備-電気品室、予備-常用空調機室用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ 40℃ とする。</p>			

【設定根拠】（続き）

3. 外径の設定根拠

(1) 配管

D1 : 76.3mm

本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.9MPa以上\*1及び消火に必要なハロン1301ガス量\*2を30秒以内\*3に放射可能であることをメーカーにて確認している76.3mmとする。

注記\*1：消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力。

\*2：消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量。

\*3：消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間。



名 称		予備-蓄電池室（北側）供給ライン分岐点 ～ 予備-蓄電池室（北側）
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	34.0
<p><b>【設 定 根 拠】</b> (概 要)</p> <p>本配管は、予備-ガスタービン発電機制御盤室，予備-蓄電池室（北側），予備-蓄電池室（南側），予備-ハッチ室，予備-蓄電池室空調機室，予備-電気品室，予備-常用空調機室用ハロゲン化物ポンベのヘッダ管と予備-蓄電池室（北側）を接続する配管であり，予備-蓄電池室（北側）内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>本配管の最高使用圧力の設定根拠をP 1，最高使用温度の設定根拠をT 1，外径の設定根拠をD 3として以下に示す。</p> <p>消火系主配管の設計仕様を表 2.1.1.2.7-1 ハロゲン化物消火設備（ガスタービン発電機建物）主配管の設計仕様表に示す。</p> <p>1. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p><u>P 1 : 5.2MPa</u></p> <p>本配管の最高使用圧力は，予備-ガスタービン発電機制御盤室，予備-蓄電池室（北側），予備-蓄電池室（南側），予備-ハッチ室，予備-蓄電池室空調機室，予備-電気品室，予備-常用空調機室用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ 5.2MPa とする。</p> <p>2. 最高使用温度の設定根拠</p> <p><u>T 1 : 40℃</u></p> <p>本配管の最高使用温度は，予備-ガスタービン発電機制御盤室，予備-蓄電池室（北側），予備-蓄電池室（南側），予備-ハッチ室，予備-蓄電池室空調機室，予備-電気品室，予備-常用空調機室用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ 40℃ とする。</p>		

【設定根拠】（続き）

3. 外径の設定根拠

(1) 配管

D3 : 34.0mm

本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.9MPa以上\*<sup>1</sup>及び消火に必要なハロン1301ガス量\*<sup>2</sup>を30秒以内\*<sup>3</sup>に放射可能であることをメーカーにて確認している34.0mmとする。

注記\*<sup>1</sup>：消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力。

\*<sup>2</sup>：消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量。

\*<sup>3</sup>：消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間。

名 称		予備-ハッチ室, 予備-蓄電池室空調機室供給ライン分岐点 ～ 予備-ハッチ室, 予備-蓄電池室空調機室
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	60.5
<p><b>【設 定 根 拠】</b> (概 要)</p> <p>本配管は, 予備-ガスタービン発電機制御盤室, 予備-蓄電池室(北側), 予備-蓄電池室(南側), 予備-ハッチ室, 予備-蓄電池室空調機室, 予備-電気品室, 予備-常用空調機室用ハロゲン化物ポンベのヘッダ管と予備-ハッチ室, 予備-蓄電池室空調機室を接続する配管であり, 予備-ハッチ室, 予備-蓄電池室空調機室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>本配管の最高使用圧力の設定根拠をP 1, 最高使用温度の設定根拠をT 1, 外径の設定根拠をD 4として以下に示す。</p> <p>消火系主配管の設計仕様を表 2.1.1.2.7-1 ハロゲン化物消火設備(ガスタービン発電機建物)主配管の設計仕様表に示す。</p> <p>1. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p><u>P 1 : 5.2MPa</u></p> <p>本配管の最高使用圧力は, 予備-ガスタービン発電機制御盤室, 予備-蓄電池室(北側), 予備-蓄電池室(南側), 予備-ハッチ室, 予備-蓄電池室空調機室, 予備-電気品室, 予備-常用空調機室用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ5.2MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度の設定根拠</p> <p><u>T 1 : 40℃</u></p> <p>本配管の最高使用温度は, 予備-ガスタービン発電機制御盤室, 予備-蓄電池室(北側), 予備-蓄電池室(南側), 予備-ハッチ室, 予備-蓄電池室空調機室, 予備-電気品室, 予備-常用空調機室用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p>		

【設定根拠】（続き）

3. 外径の設定根拠

(1) 配管

D4 : 60.5mm

本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.9MPa以上\*1及び消火に必要なハロン1301ガス量\*2を30秒以内\*3に放射可能であることをメーカーにて確認している60.5mmとする。

注記\*1：消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力。

\*2：消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量。

\*3：消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間。

名 称		予備-蓄電池室（南側）供給ライン分岐点 ～ 予備-蓄電池室（南側）
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	34.0
<p><b>【設 定 根 拠】</b> (概 要)</p> <p>本配管は、予備-ガスタービン発電機制御盤室、予備-蓄電池室（北側）、予備-蓄電池室（南側）、予備-ハッチ室、予備-蓄電池室空調機室、予備-電気品室、予備-常用空調機室用ハロゲン化物ポンベのヘッダ管と予備-蓄電池室（南側）を接続する配管であり、予備-蓄電池室（南側）内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>本配管の最高使用圧力の設定根拠をP 1、最高使用温度の設定根拠をT 1、外径の設定根拠をD 3として以下に示す。</p> <p>消火系主配管の設計仕様を表 2.1.1.2.7-1 ハロゲン化物消火設備（ガスタービン発電機建物）主配管の設計仕様表に示す。</p> <p>1. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p><u>P 1 : 5.2MPa</u></p> <p>本配管の最高使用圧力は、予備-ガスタービン発電機制御盤室、予備-蓄電池室（北側）、予備-蓄電池室（南側）、予備-ハッチ室、予備-蓄電池室空調機室、予備-電気品室、予備-常用空調機室用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ 5.2MPa とする。</p> <p>2. 最高使用温度の設定根拠</p> <p><u>T 1 : 40℃</u></p> <p>本配管の最高使用温度は、予備-ガスタービン発電機制御盤室、予備-蓄電池室（北側）、予備-蓄電池室（南側）、予備-ハッチ室、予備-蓄電池室空調機室、予備-電気品室、予備-常用空調機室用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ 40℃ とする。</p>		

【設定根拠】（続き）

3. 外径の設定根拠

(1) 配管

D3 : 34.0mm

本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.9MPa以上\*<sup>1</sup>及び消火に必要なハロン1301ガス量\*<sup>2</sup>を30秒以内\*<sup>3</sup>に放射可能であることをメーカーにて確認している34.0mmとする。

注記\*1：消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力。

\*2：消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量。

\*3：消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間。

名 称		予備-ガスタービン発電機室用ハロゲン化物ボンベ ～ 予備-ガスタービン発電機室
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	76.3
<p><b>【設 定 根 拠】</b> (概 要)</p> <p>本配管は、予備-ガスタービン発電機室用ハロゲン化物ボンベと予備-ガスタービン発電機室を接続する配管であり、予備-ガスタービン発電機室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>本配管の最高使用圧力の設定根拠をP 1，最高使用温度の設定根拠をT 1，外径の設定根拠をD 1として以下に示す。</p> <p>消火系主配管の設計仕様を表 2. 1. 1. 2. 7-1 ハロゲン化物消火設備（ガスタービン発電機建物）主配管の設計仕様表に示す。</p> <p>1. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p><u>P 1 : 5.2MPa</u></p> <p>本配管の最高使用圧力は、予備-ガスタービン発電機室用ハロゲン化物ボンベの最高使用圧力と同じ 5.2MPa とする。</p> <p>2. 最高使用温度の設定根拠</p> <p><u>T 1 : 40℃</u></p> <p>本配管の最高使用温度は、予備-ガスタービン発電機室用ハロゲン化物ボンベの最高使用温度と同じ 40℃ とする。</p> <p>3. 外径の設定根拠</p> <p>(1) 配管</p> <p><u>D 1 : 76.3mm</u></p> <p>本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を 0.9MPa 以上*1 及び消火に必要なハロン 1301 ガス量*2 を 30 秒以内*3 に放射可能であることをメーカーにて確認している 76.3mm とする。</p> <p>注記*1：消防法施行規則第 20 条第 1 項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力。</p> <p>*2：消防法施行規則第 20 条第 3 項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量。</p> <p>*3：消防法施行規則第 20 条第 1 項第三号において定められている放射時間。</p>		

表 2.1.1.2.7-1 ハロゲン化物消火設備（ガスタービン発電機建物）主配管の設計仕様表（その1）

名 称	最高使用圧力 (MPa)		最高使用温度 (°C)		外 径 (mm)	
	設定値	根拠	設定値	根拠	設定値	根拠
2号-ガスタービン発電機 制御盤室, 2号-蓄電池室 (北側), 2号-蓄電池室 (南側), 2号-ハッチ 室, 2号-蓄電池室空調機 室, 2号-電気品室, 2号- 常用空調機室用ハロゲン 化物ボンベ出口ヘッダ管	5.2	P 1	40	T 1	76.3	D 1
2号-常用空調機室供給ラ イン分岐点 ～ 2号-常用空調機室	5.2	P 1	40	T 1	42.7	D 2
2号-電気品室供給ライン 分岐点 ～ 2号-電気品室	5.2	P 1	40	T 1	76.3	D 1
2号-ガスタービン発電機 制御盤室供給ライン分岐 点 ～ 2号-ガスタービン発電機 制御盤室	5.2	P 1	40	T 1	76.3	D 1
2号-蓄電池室(北側) 供 給ライン分岐点 ～ 2号-蓄電池室(北側)	5.2	P 1	40	T 1	34.0	D 3
2号-ハッチ室, 2号-蓄電 池室空調機室供給ライン 分岐点 ～ 2号-ハッチ室, 2号-蓄電 池室空調機室	5.2	P 1	40	T 1	60.5	D 4
2号-蓄電池室(南側) 供 給ライン分岐点 ～ 2号-蓄電池室(南側)	5.2	P 1	40	T 1	34.0	D 3
2号-ガスタービン発電機 室用ハロゲン化物ボンベ ～ 2号-ガスタービン発電機 室	5.2	P 1	40	T 1	76.3	D 1



表 2.1.1.2.7-1 ハロゲン化物消火設備（ガスタービン発電機建物）主配管の設計仕様表（その2）

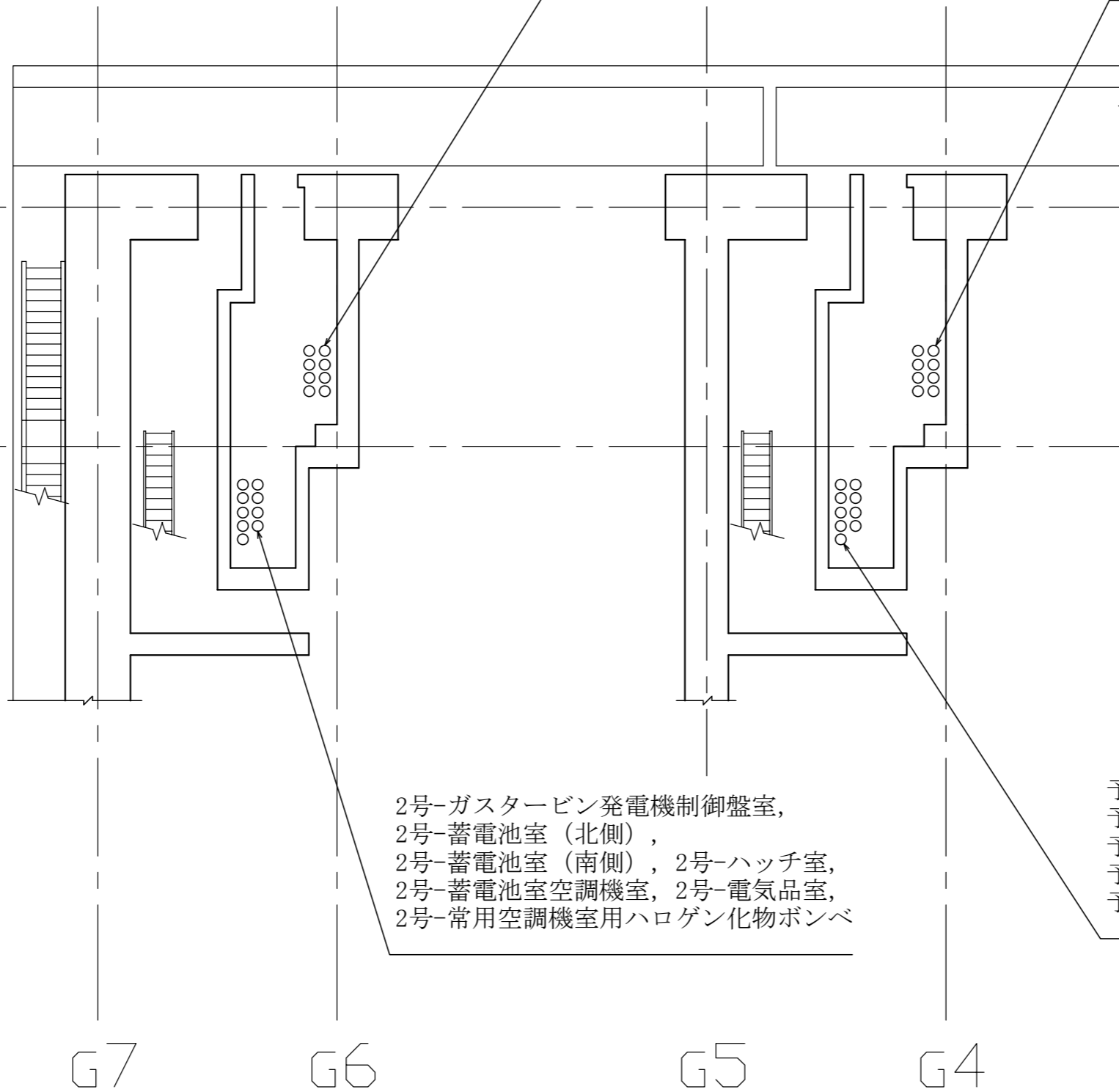
名 称	最高使用圧力 (MPa)		最高使用温度 (°C)		外 径 (mm)	
	設定値	根拠	設定値	根拠	設定値	根拠
予備-ガスタービン発電機 制御盤室，予備-蓄電池室 (北側)，予備-蓄電池室 (南側)，予備-ハッチ 室，予備-蓄電池室空調機 室，予備-電気品室，予備 -常用空調機室用ハロゲン 化物ボンベ出口ヘッダ管	5.2	P 1	40	T 1	76.3	D 1
予備-常用空調機室供給ラ イン分岐点 ～ 予備-常用空調機室	5.2	P 1	40	T 1	42.7	D 2
予備-電気品室供給ライン 分岐点 ～ 予備-電気品室	5.2	P 1	40	T 1	76.3	D 1
予備-ガスタービン発電機 制御盤室供給ライン分岐 点 ～ 予備-ガスタービン発電機 制御盤室	5.2	P 1	40	T 1	76.3	D 1
予備-蓄電池室（北側）供 給ライン分岐点 ～ 予備-蓄電池室（北側）	5.2	P 1	40	T 1	34.0	D 3
予備-ハッチ室，予備-蓄 電池室空調機室供給ライ ン分岐点 ～ 予備-ハッチ室，予備-蓄 電池室空調機室	5.2	P 1	40	T 1	60.5	D 4
予備-蓄電池室（南側）供 給ライン分岐点 ～ 予備-蓄電池室（南側）	5.2	P 1	40	T 1	34.0	D 3
予備-ガスタービン発電機 室用ハロゲン化物ボンベ ～ 予備-ガスタービン発電機 室	5.2	P 1	40	T 1	76.3	D 1

2号-ガスタービン発電機室用ハロゲン化物ボンベ

予備-ガスタービン発電機室用ハロゲン化物ボンベ

GA

GB



2号-ガスタービン発電機制御盤室,  
 2号-蓄電池室 (北側),  
 2号-蓄電池室 (南側), 2号-ハッチ室,  
 2号-蓄電池室空調機室, 2号-電気品室,  
 2号-常用空調機室用ハロゲン化物ボンベ

予備-ガスタービン発電機制御盤室,  
 予備-蓄電池室 (北側),  
 予備-蓄電池室 (南側), 予備-ハッチ室,  
 予備-蓄電池室空調機室, 予備-電気品室,  
 予備-常用空調機室用ハロゲン化物ボンベ

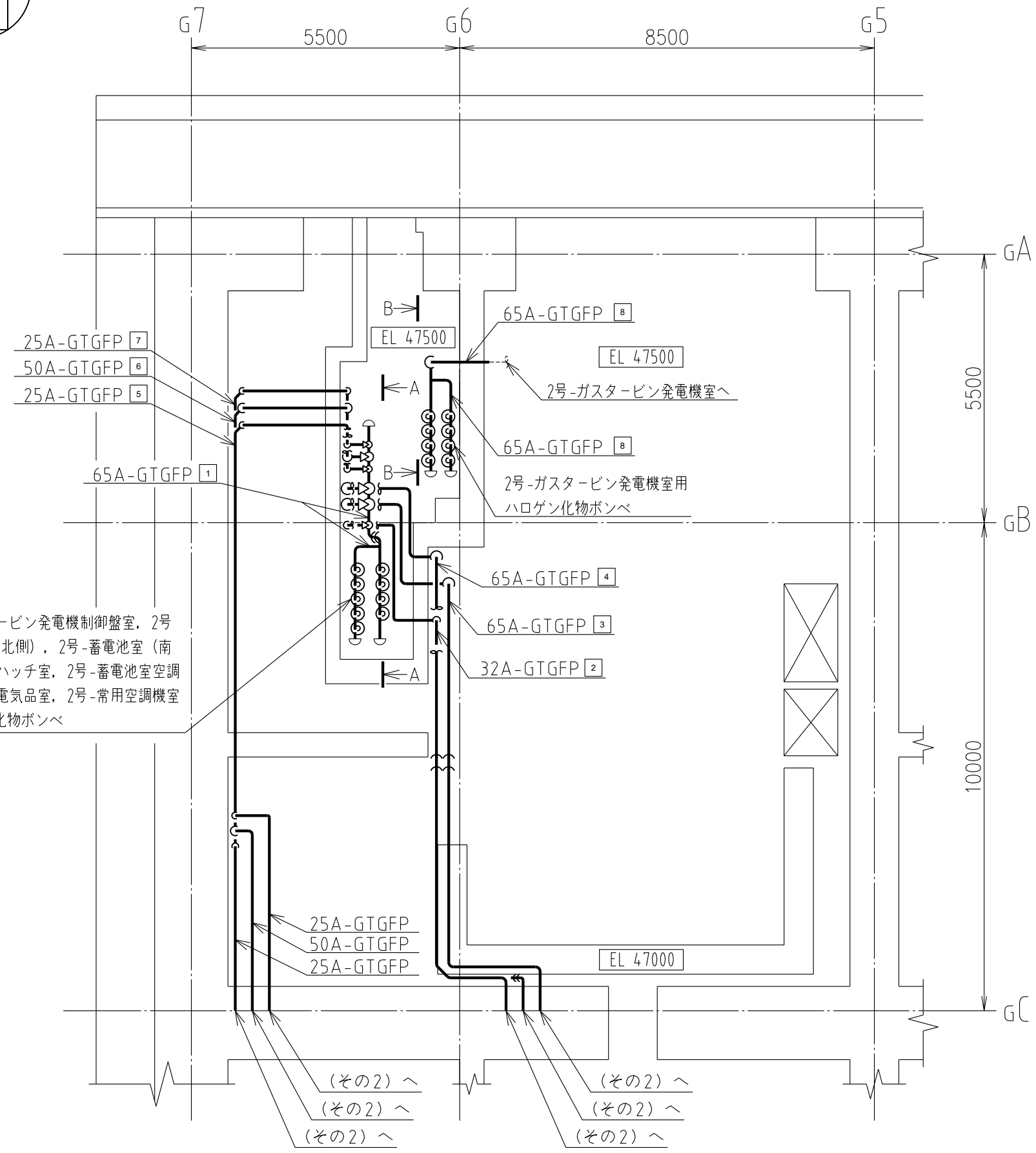
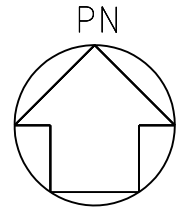
ガスタービン発電機建物 EL 47500

工事計画認可申請 第9-3-2-2-7-1-1図

島根原子力発電所 第2号機

名称 消火設備に係る機器の配置を明示した図面  
 (ハロゲン化物消火設備 (ガスタービン発電機建物))

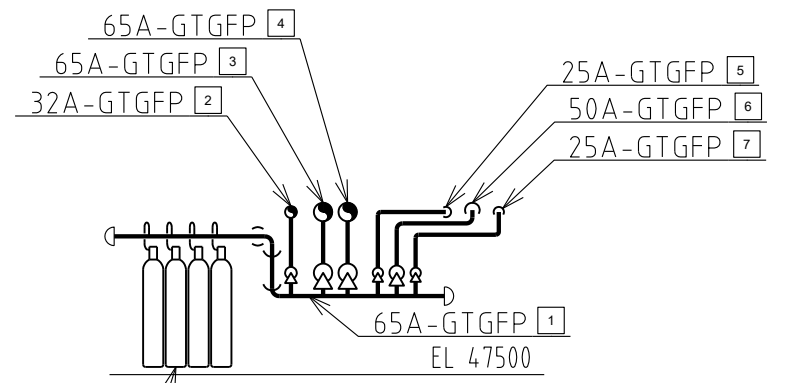
中国電力株式会社



25A-GTGFP  
50A-GTGFP  
25A-GTGFP

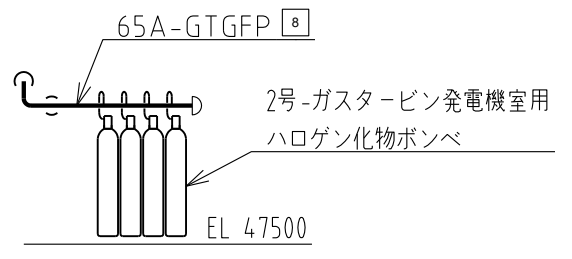
(その2) ~  
(その2) ~  
(その2) ~

(その2) ~  
(その2) ~  
(その2) ~



A ~ A 矢視図

2号-ガスタービン発電機制御盤室, 2号-蓄電池室 (北側), 2号-蓄電池室 (南側), 2号-ハッチ室, 2号-蓄電池室空調機室, 2号-電気品室, 2号-常用空調機室用ハロゲン化物ボンベ



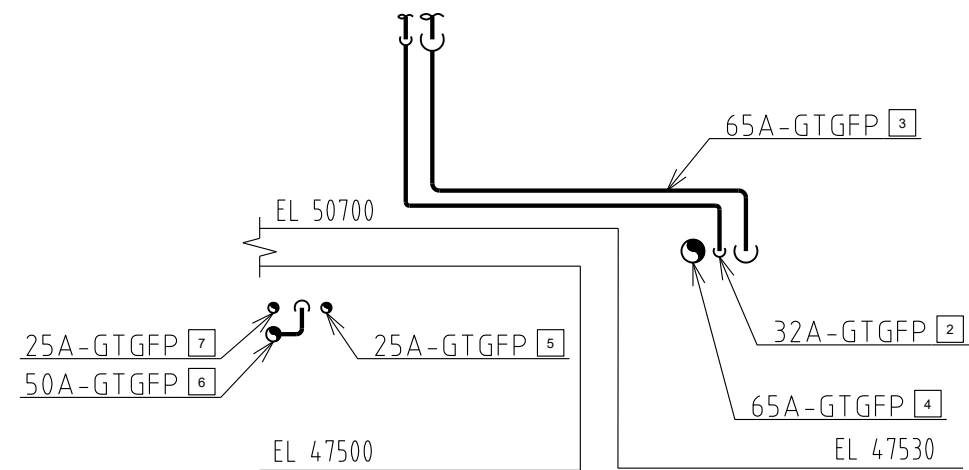
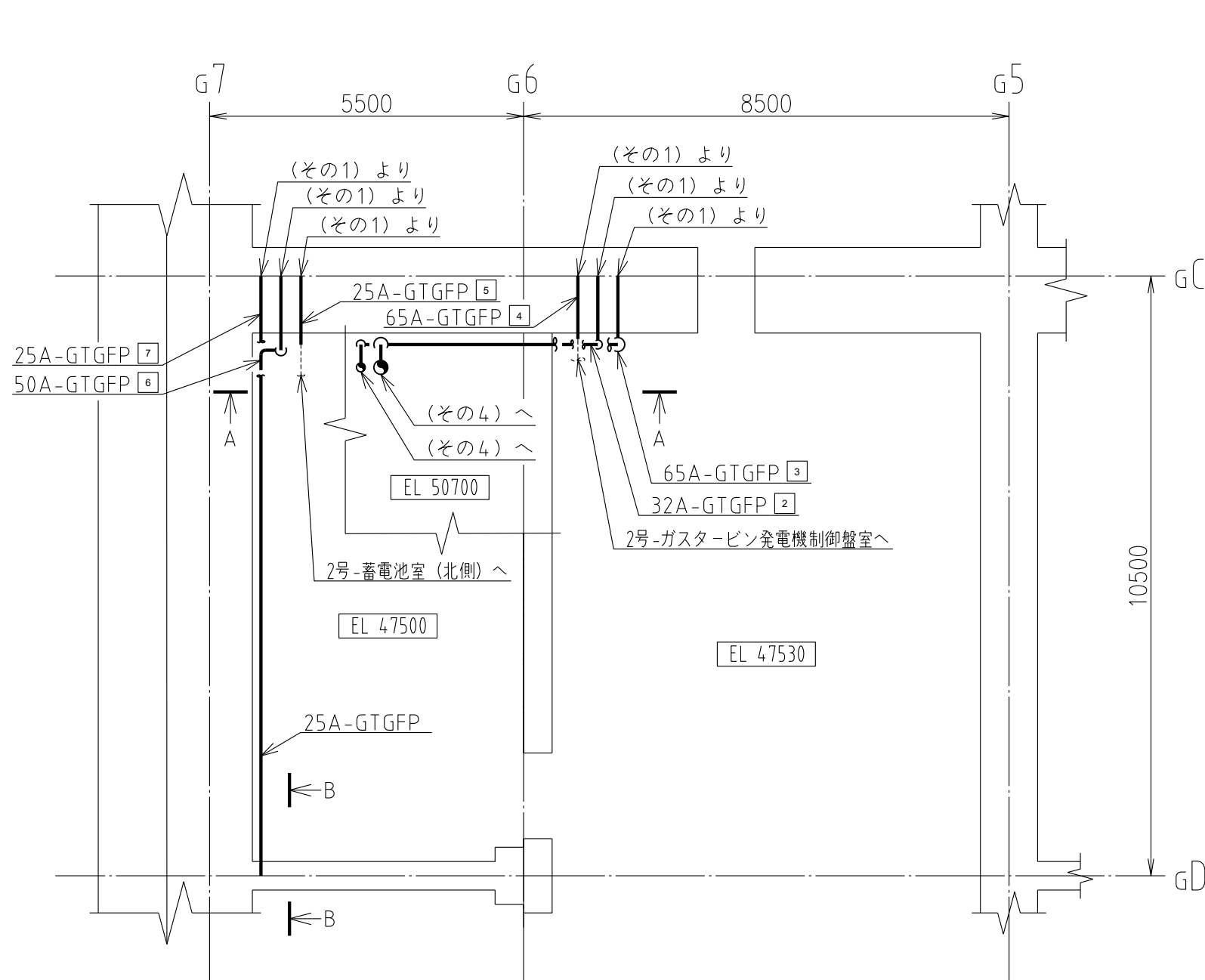
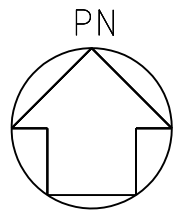
B ~ B 矢視図

ガスタービン発電機建物

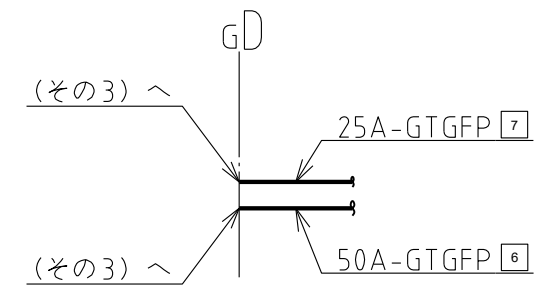
工事計画認可申請	第9-3-2-2-7-2-1図
島根原子力発電所第2号機	
名称	消火設備に係る主配管の配置を明示した図面 (ハロゲン化物消火設備 (ガスタービン発電機建物) (その1))
中国電力株式会社	

注1: 寸法はmmを示す。

注2: 図中の四角内番号は別紙1のNO.を示す。



A ~ A 矢視図



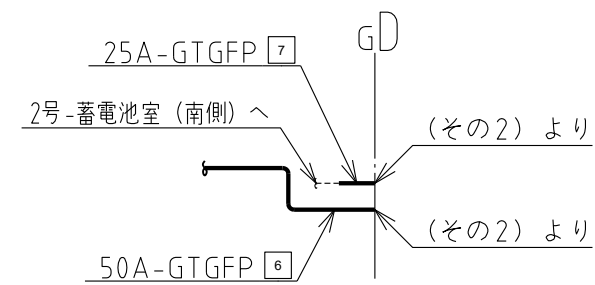
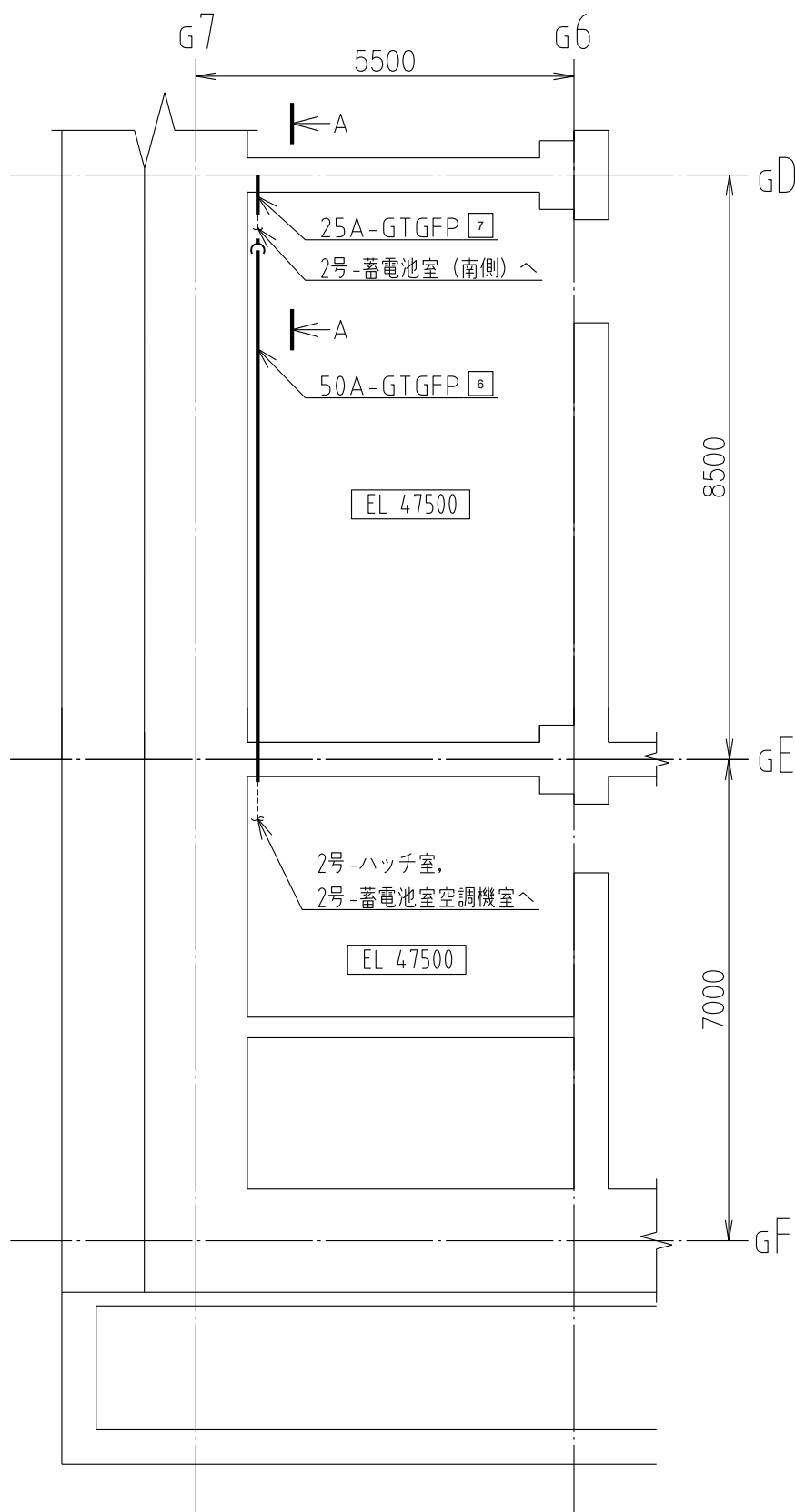
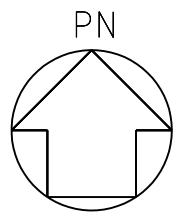
B ~ B 矢視図

ガスタービン発電機建物

工事計画認可申請	第9-3-2-2-7-2-2 図
島根原子力発電所第2号機	
名称	消火設備に係る主配管の配置を明示した図面 (ハロゲン化物消火設備(ガスタービン発電機建物)) (その2)
中国電力株式会社	
GTGFP/NS2FP-LM02	1305

注1: 寸法はmmを示す。

注2: 図中の四角内番号は別紙1のNO.を示す。



A ~ A 矢視図

注1: 寸法はmmを示す。

注2: 図中の四角内番号は別紙1のNO.を示す。

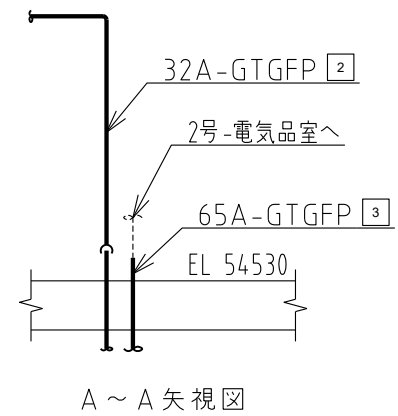
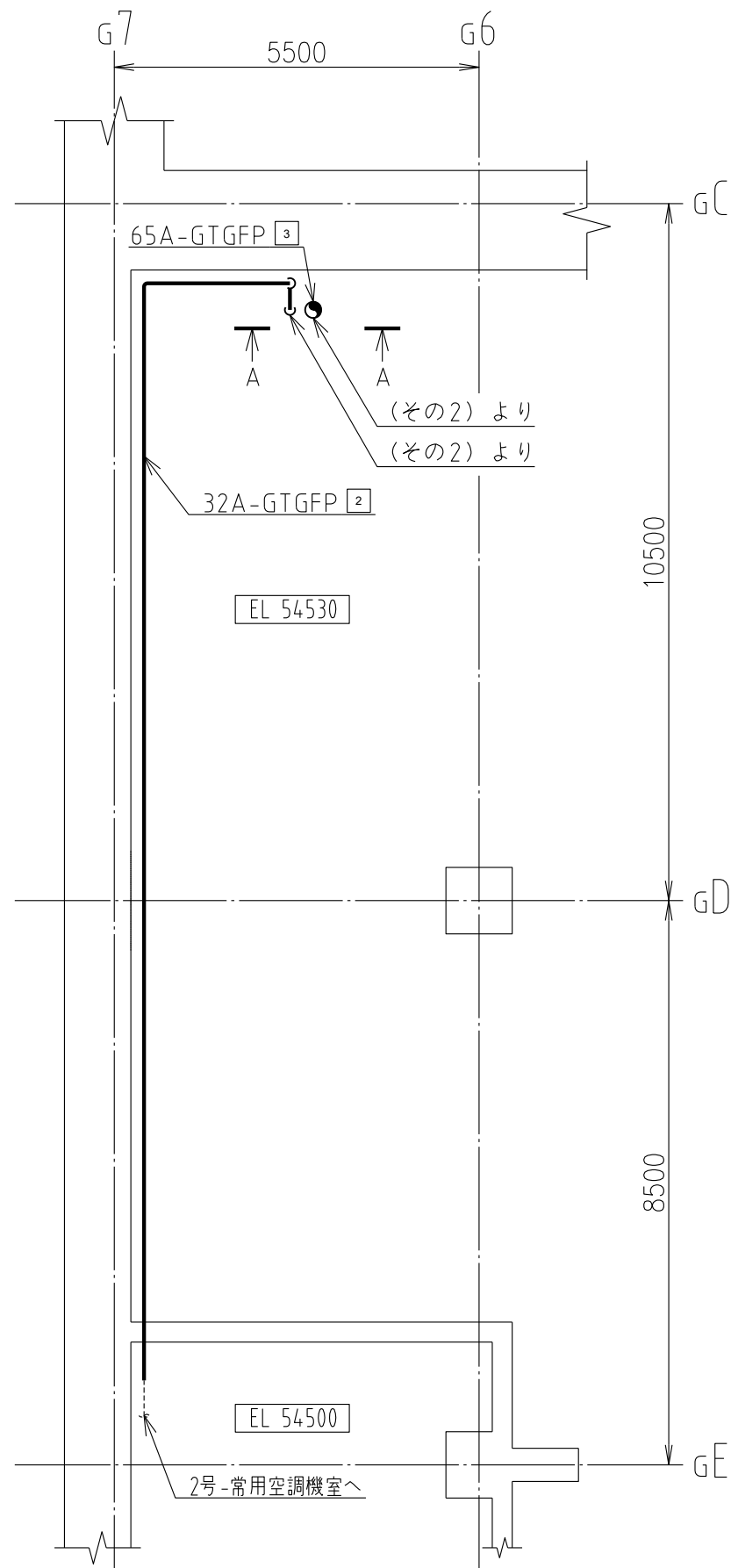
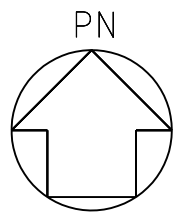
ガスタービン発電機建物

工事計画認可申請 第9-3-2-2-7-2-3 図

島根原子力発電所第2号機

名称 消火設備に係る主配管の配置を明示した図面  
(ハロゲン化物消火設備(ガスタービン発電機建物))  
(その3)

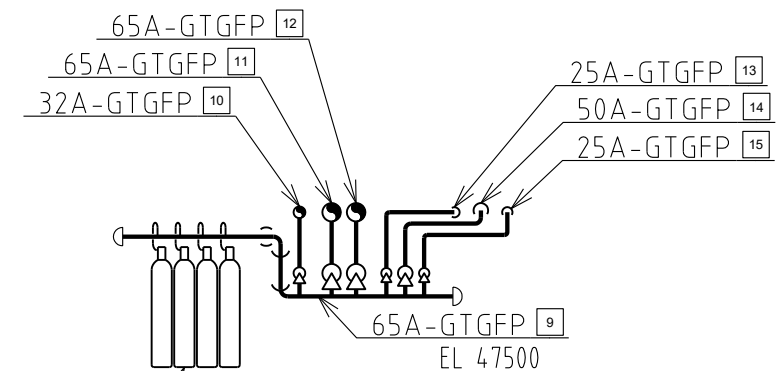
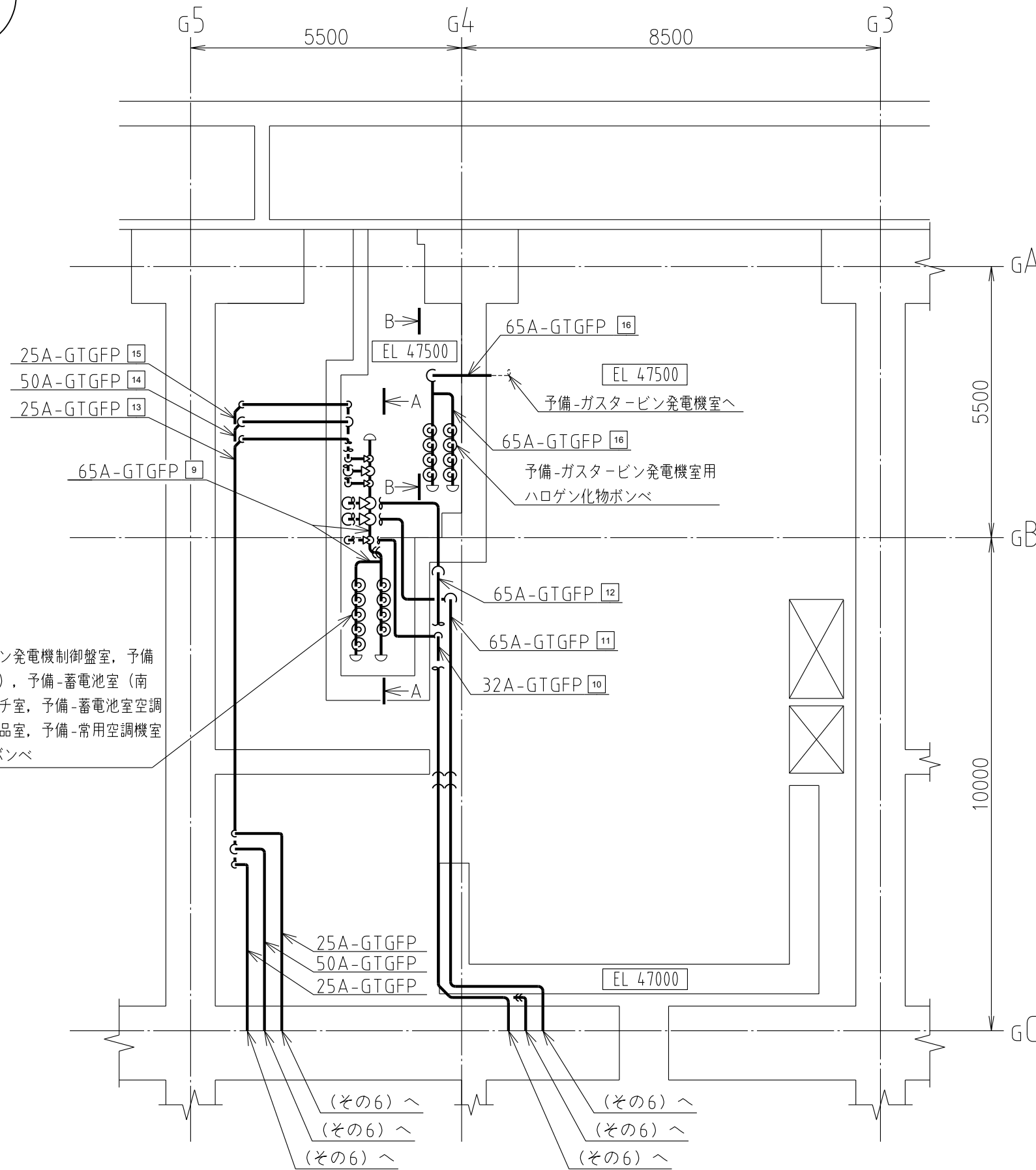
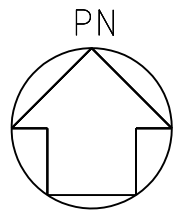
中国電力株式会社



注1: 寸法はmmを示す。  
 注2: 図中の四角内番号は別紙1のNO.を示す。

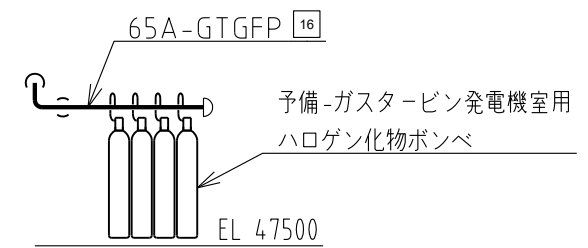
ガスタービン発電機建物

工事計画認可申請	第9-3-2-2-7-2-4 図
島根原子力発電所第2号機	
名称	消火設備に係る主配管の配置を明示した図面 (ハロゲン化物消火設備(ガスタービン発電機建物)) (その4)
中国電力株式会社	
GTGFP	NS2FP-LM04 1305



A ~ A 矢視図

予備-ガスタービン発電機制御盤室, 予備-蓄電池室(北側), 予備-蓄電池室(南側), 予備-ハッチ室, 予備-蓄電池室空調機室, 予備-電気品室, 予備-常用空調機室用ハロゲン化物ポンベ



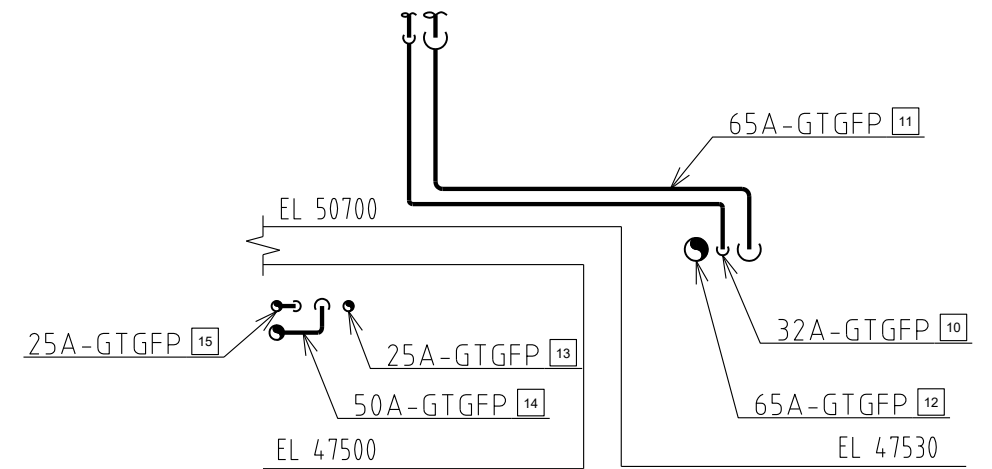
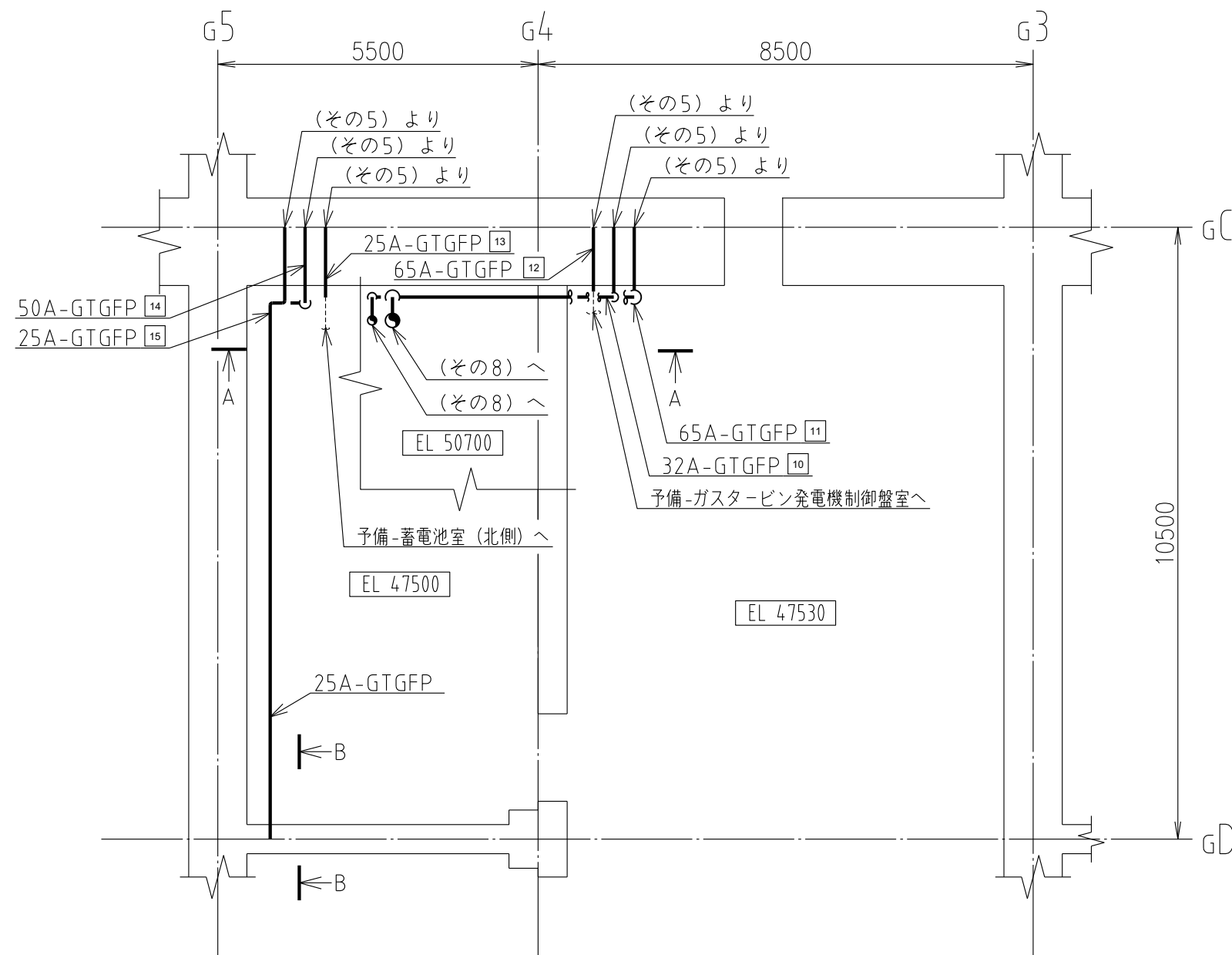
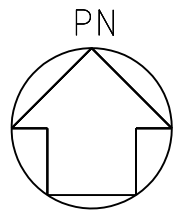
B ~ B 矢視図

予備-ガスタービン発電機制御盤室, 予備-蓄電池室(北側), 予備-蓄電池室(南側), 予備-ハッチ室, 予備-蓄電池室空調機室, 予備-電気品室, 予備-常用空調機室用ハロゲン化物ポンベ

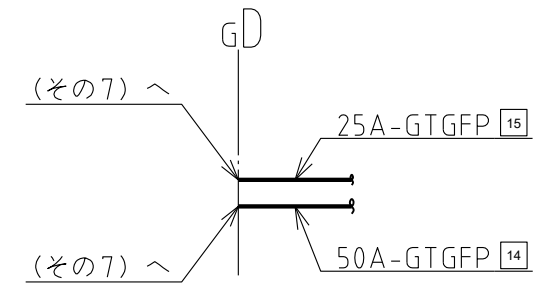
ガスタービン発電機建物

工事計画認可申請	第9-3-2-2-7-2-5 図
島根原子力発電所第2号機	
名称	消火設備に係る主配管の配置を明示した図面 (ハロゲン化物消火設備(ガスタービン発電機建物)) (その5)
中国電力株式会社	
GTGFP NS2FP-LM05	1305

注1: 寸法はmmを示す。  
注2: 図中の四角内番号は別紙1のNO.を示す。



A ~ A 矢視図



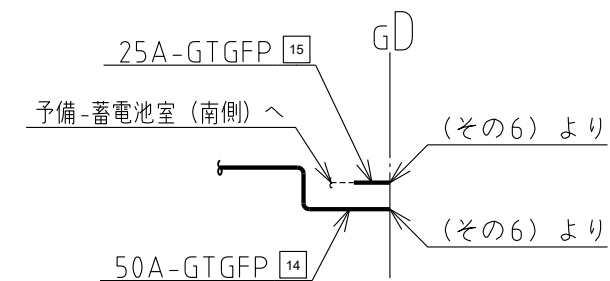
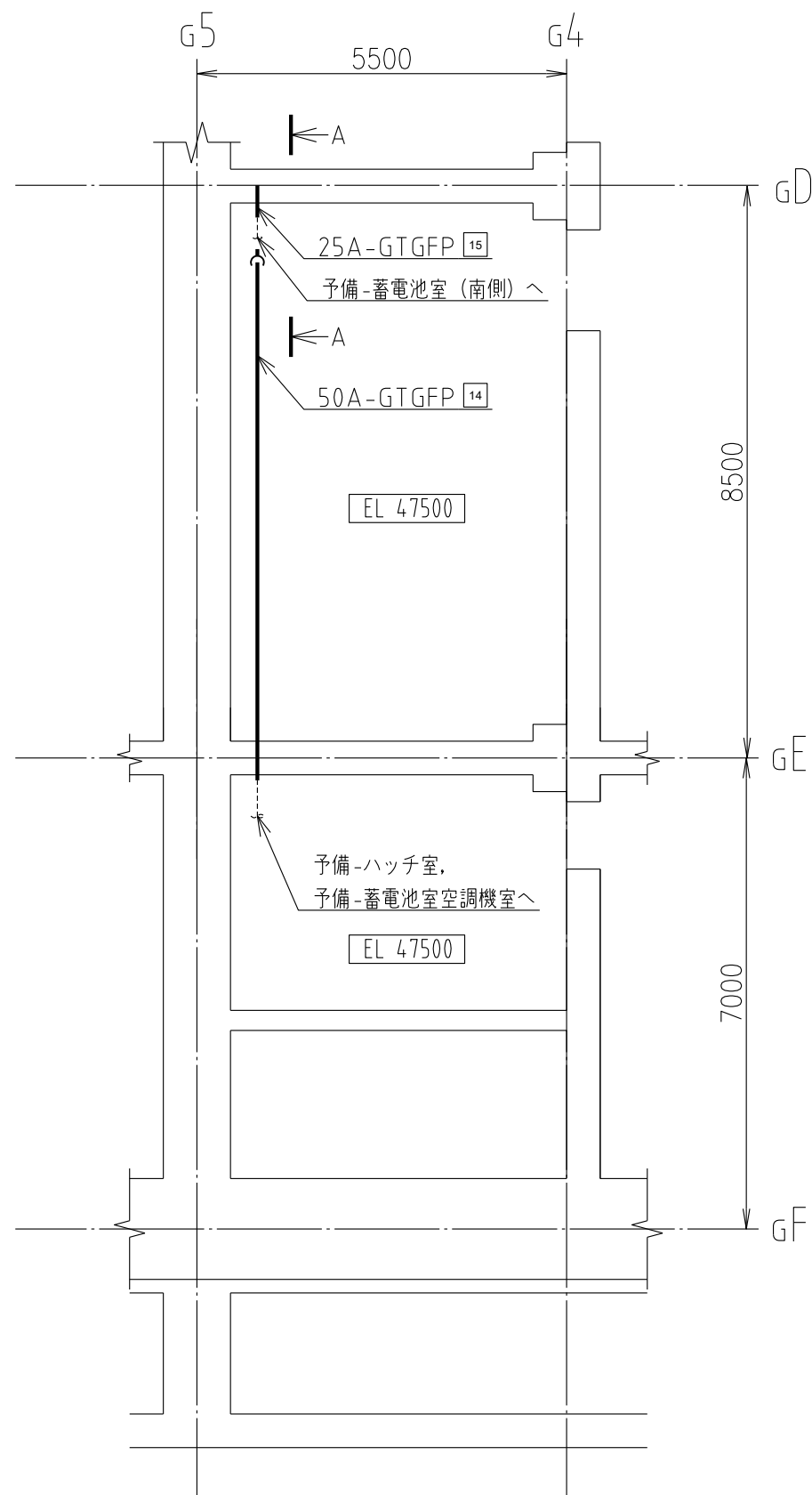
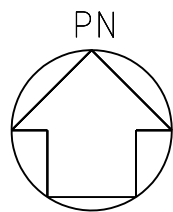
B ~ B 矢視図

注1: 寸法はmmを示す。  
注2: 図中の四角内番号は別紙1のNO.を示す。

ガスタービン発電機建物

工事計画認可申請	第9-3-2-2-7-2-6図
島根原子力発電所第2号機	
名称	消火設備に係る主配管の配置を明示した図面 (ハロゲン化物消火設備(ガスタービン発電機建物)) (その6)
中国電力株式会社	
GTGFP	NS2FP-LM06 1305



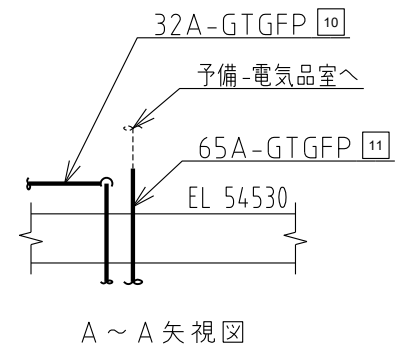
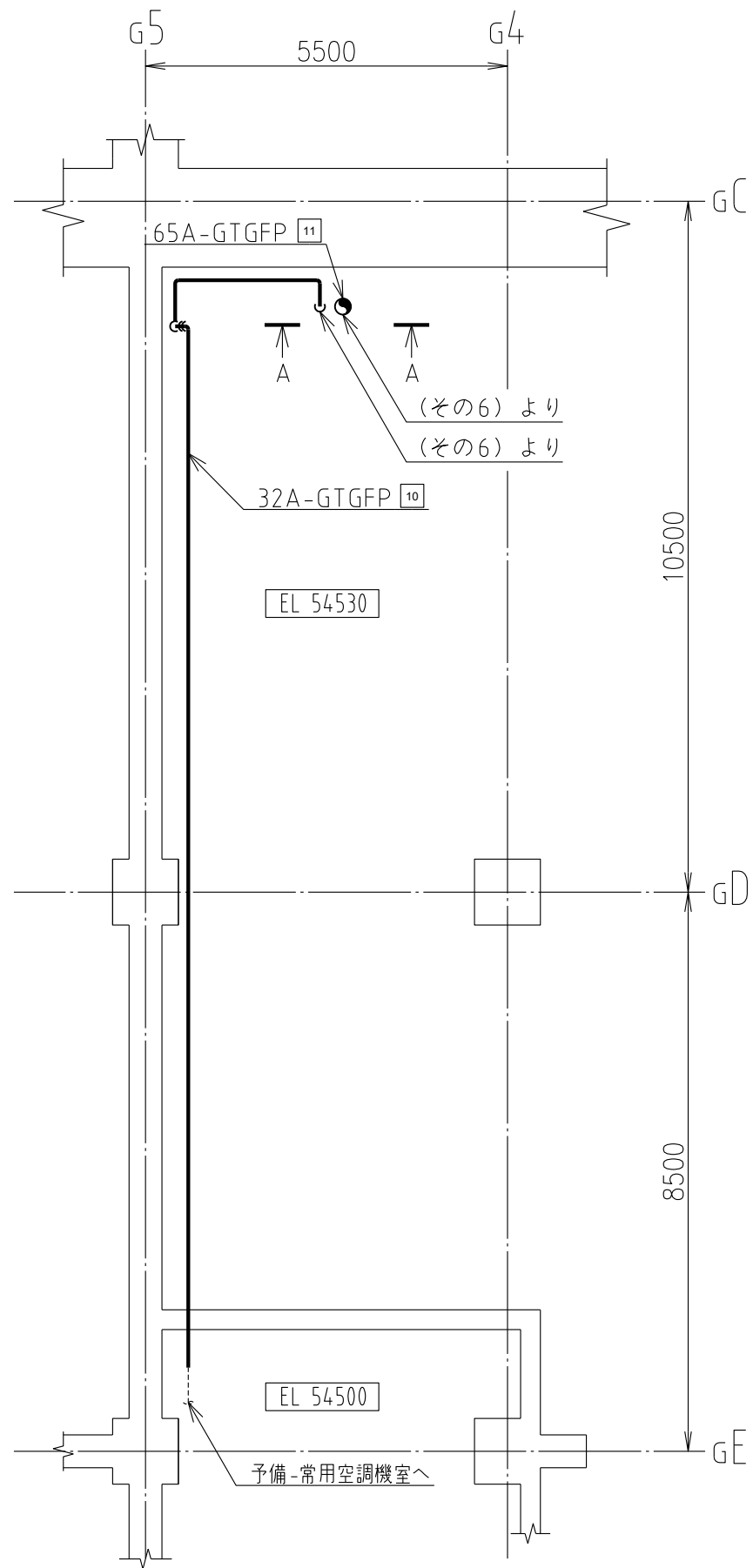
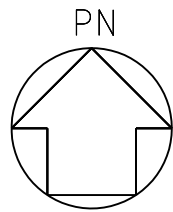


A ~ A 矢視図

注1: 寸法はmmを示す。  
 注2: 図中の四角内番号は別紙1のNO.を示す。

ガスタービン発電機建物

工事計画認可申請	第9-3-2-2-7-2-7図
島根原子力発電所第2号機	
名称	消火設備に係る主配管の配置を明示した図面 (ハロゲン化物消火設備(ガスタービン発電機建物)) (その7)
中国電力株式会社	
GTGFP NS2FP-LM07	1305



注1: 寸法はmmを示す。  
 注2: 図中の四角内番号は別紙1のNO.を示す。

ガスタービン発電機建物

工事計画認可申請	第9-3-2-2-7-2-8図
島根原子力発電所第2号機	
名称	消火設備に係る主配管の配置を明示した図面 (ハロゲン化物消火設備(ガスタービン発電機建物)) (その8)
中国電力株式会社	
GTGFP	NS2FP-LM08 1305

第 9-3-2-2-7-2-1~8 図 消火設備に係る主配管の配置を明示した図面（ハロゲン化物消火設備（ガスタービン発電機建物）） 別紙 1

工事計画抜粋

変更前						変更後						NO. *2	
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料		
—						消 火 系	2号-ガスタービン発 電機制御盤室, 2号- 蓄電池室 (北側), 2 号-蓄電池室 (南 側), 2号-ハッチ室, 2号-蓄電池室空調機 室, 2号-電気品室, 2 号-常用空調機室用ハ ロゲン化物ポンベ出 口ヘッダ管	5.2	40	76.3	5.2	SUS304TP	1
							2号-常用空調機室供 給ライン分岐点 ~ 2号-常用空調機室	5.2	40	42.7	3.6	SUS304TP	2
							2号-電気品室供給ラ イン分岐点 ~ 2号-電気品室	5.2	40	76.3	5.2	SUS304TP	3

変更前						変更後						NO. *2
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料	
—						2号-ガスタービン発電機制御盤室供給ライン分岐点 ～ 2号-ガスタービン発電機制御盤室	5.2	40	76.3	5.2	SUS304TP	4
						2号-蓄電池室（北側）供給ライン分岐点 ～ 2号-蓄電池室（北側）	5.2	40	34.0	3.4	SUS304TP	5
						2号-ハッチ室，2号-蓄電池室空調機室供給ライン分岐点 ～ 2号-ハッチ室，2号-蓄電池室空調機室	5.2	40	60.5	3.9	SUS304TP	6
						2号-蓄電池室（南側）供給ライン分岐点 ～ 2号-蓄電池室（南側）	5.2	40	34.0	3.4	SUS304TP	7

変更前						変更後						NO. *2	
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料		
—						消火系	2号-ガスタービン発 電機室用ハロゲン化 物ポンベ ～ 2号-ガスタービン発 電機室	5.2	40	76.3	5.2	SUS304TP	8

変更前						変更後						NO. *2	
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料		
—						消火系	予備-ガスタービン発電機制御盤室, 予備-蓄電池室(北側), 予備-蓄電池室(南側), 予備-ハッチ室, 予備-蓄電池室空調機室, 予備-電気品室, 予備-常用空調機室用ハロゲン化物ボンベ出口ヘッド管	5.2	40	76.3	5.2	SUS304TP	9
							予備-常用空調機室供給ライン分岐点 ～ 予備-常用空調機室	5.2	40	42.7	3.6	SUS304TP	10
							予備-電気品室供給ライン分岐点 ～ 予備-電気品室	5.2	40	76.3	5.2	SUS304TP	11

変更前						変更後						NO. *2	
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料		
—						消火系	予備-ガスタービン発電機制御盤室供給ライン分岐点 ～ 予備-ガスタービン発電機制御盤室	5.2	40	76.3	5.2	SUS304TP	12
							予備-蓄電池室（北側）供給ライン分岐点 ～ 予備-蓄電池室（北側）	5.2	40	34.0	3.4	SUS304TP	13
							予備-ハッチ室，予備-蓄電池室空調機室供給ライン分岐点 ～ 予備-ハッチ室，予備-蓄電池室空調機室	5.2	40	60.5	3.9	SUS304TP	14
							予備-蓄電池室（南側）供給ライン分岐点 ～ 予備-蓄電池室（南側）	5.2	40	34.0	3.4	SUS304TP	15

変更前						変更後						NO. *2	
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料		
—						消火系	予備-ガスタービン発 電機室用ハロゲン化 物ポンベ ～ 予備-ガスタービン発 電機室	5.2	40	76.3	5.2	SUS304TP	16

9

注記\*1：公称値を示す。

\*2：消火設備に係る主配管の配置を明示した図面（ハロゲン化物消火設備（ガスタービン発電機建物））に記載の四角内番号を示す。



第9-3-2-2-7-2-1~8 図 消火設備に係る主配管の配置を明示した図面（ハロゲン化物消火設備（ガスタービン発電機建物） 別紙2

工事計画記載の公称値の許容範囲

[ハロゲン化物消火設備（ガスタービン発電機建物）の主配管]

管NO.1\*

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	76.3	±1%	J I S G 3 4 5 9による材料公差
厚さ	5.2	<input type="text"/> % -12.5%	【プラス側公差】 製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準 【マイナス側公差】 J I S G 3 4 5 9による材料公差

管NO.3\*

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	42.7	±0.5mm	J I S G 3 4 5 9による材料公差
厚さ	3.6	<input type="text"/> % -0.5mm	【プラス側公差】 製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準 【マイナス側公差】 J I S G 3 4 5 9による材料公差

管NO.4\*

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	34.0	±0.5mm	J I S G 3 4 5 9による材料公差
厚さ	3.4	<input type="text"/> % -0.5mm	【プラス側公差】 製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準 【マイナス側公差】 J I S G 3 4 5 9による材料公差

工事計画記載の公称値の許容範囲（続き）

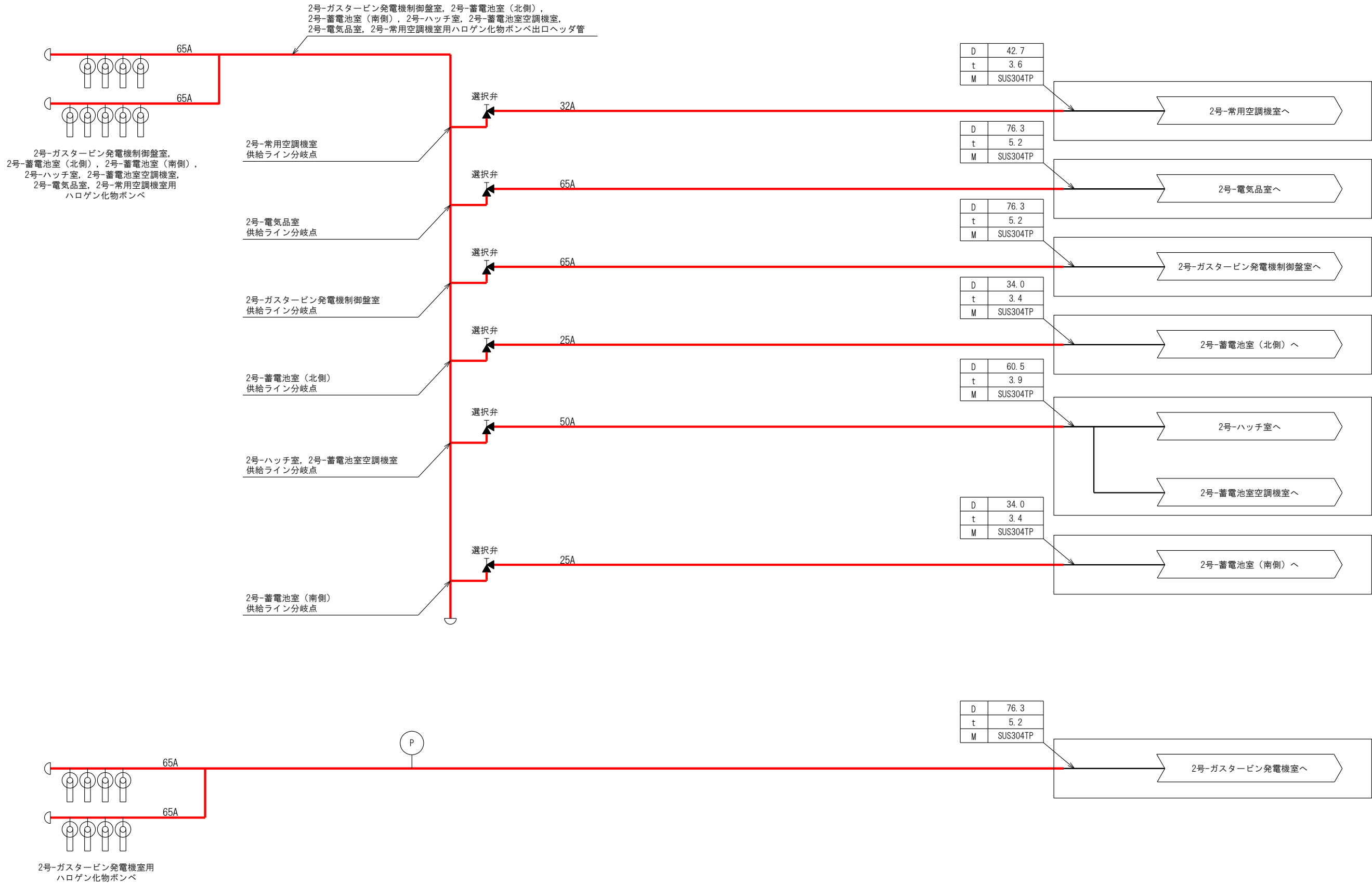
[ハロゲン化物消火設備（ガスタービン発電機建物）の主配管（続き）]

管NO.5\*

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	60.5	±1%	J I S G 3 4 5 9による材料公差
厚さ	3.9	<input type="text" value=""/> % -0.5mm	【プラス側公差】 製造能力，製造実績を考慮したメーカ基準 【マイナス側公差】 J I S G 3 4 5 9による材料公差

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値

注記\*：管の強度計算書のNO.を示す。



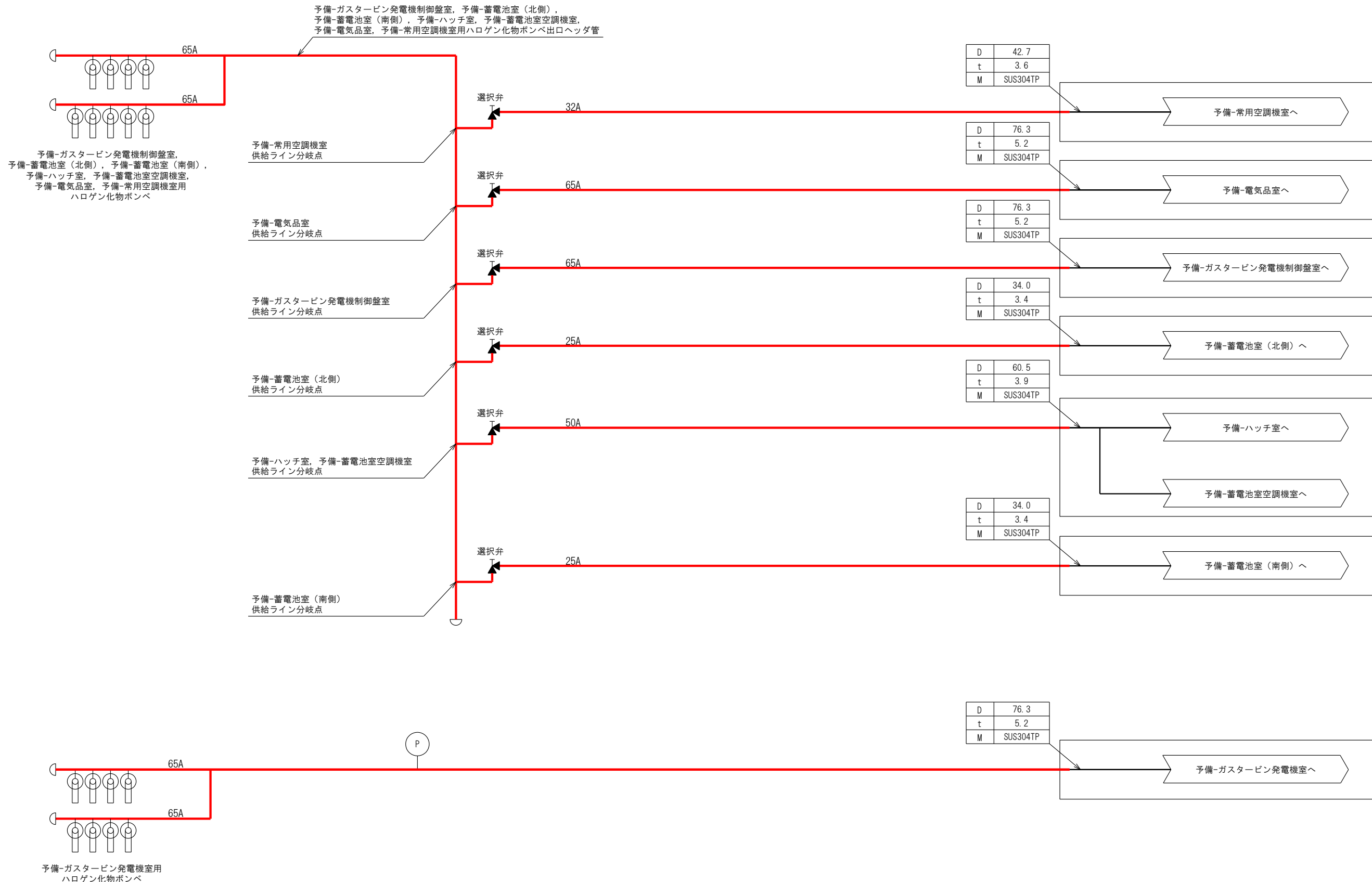
2号-ガスタービン発電機室用  
ハロゲン化物ポンベ

— 火災防護設備のうち消火系（ハロゲン化物消火設備（ガスタービン発電機建物））（当該系統の申請範囲）

1. 枝管仕様表説明

D	外径	mm
t	厚さ	mm
M	材料	

工事計画認可申請	第9-3-2-2-7-3-1図
島根原子力発電所第2号機	
名称	消火設備系統図 (ハロゲン化物消火設備(ガスタービン発電機建物)) (その1)
	中国電力株式会社
GTGFP   NS2FP-PM01   1514	



予備-ガスタービン発電機制御室, 予備-蓄電池室(北側),  
予備-蓄電池室(南側), 予備-ハッチ室, 予備-蓄電池室空調機室,  
予備-電気品室, 予備-常用空調機室用ハロゲン化物ポンベ出口ヘッダ管

予備-ガスタービン発電機制御室,  
予備-蓄電池室(北側), 予備-蓄電池室(南側),  
予備-ハッチ室, 予備-蓄電池室空調機室,  
予備-電気品室, 予備-常用空調機室用  
ハロゲン化物ポンベ

予備-常用空調機室  
供給ライン分岐点

予備-電気品室  
供給ライン分岐点

予備-ガスタービン発電機制御室  
供給ライン分岐点

予備-蓄電池室(北側)  
供給ライン分岐点

予備-ハッチ室, 予備-蓄電池室空調機室  
供給ライン分岐点

予備-蓄電池室(南側)  
供給ライン分岐点

予備-ガスタービン発電機室用  
ハロゲン化物ポンベ

D	42.7
t	3.6
M	SUS304TP

D	76.3
t	5.2
M	SUS304TP

D	76.3
t	5.2
M	SUS304TP

D	34.0
t	3.4
M	SUS304TP

D	60.5
t	3.9
M	SUS304TP

D	34.0
t	3.4
M	SUS304TP

D	76.3
t	5.2
M	SUS304TP

1. 枝管仕様表説明

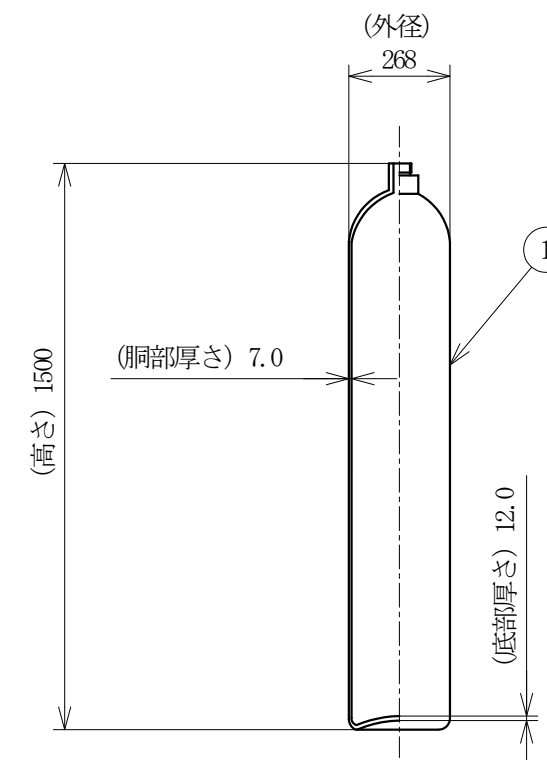
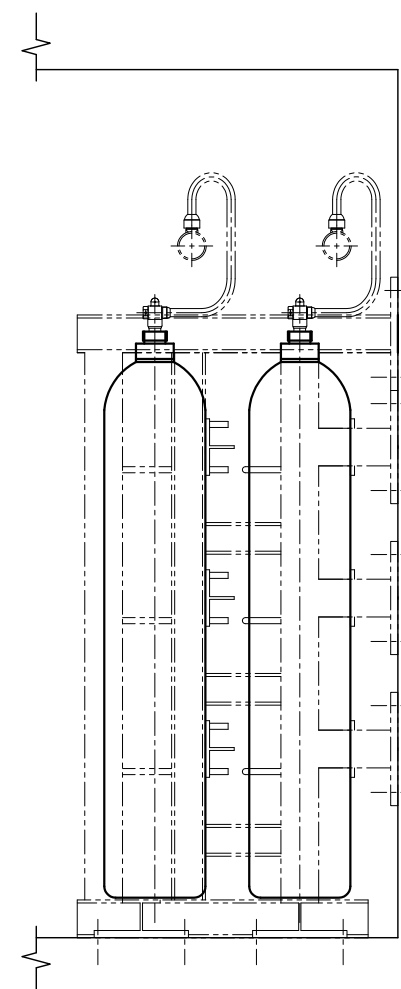
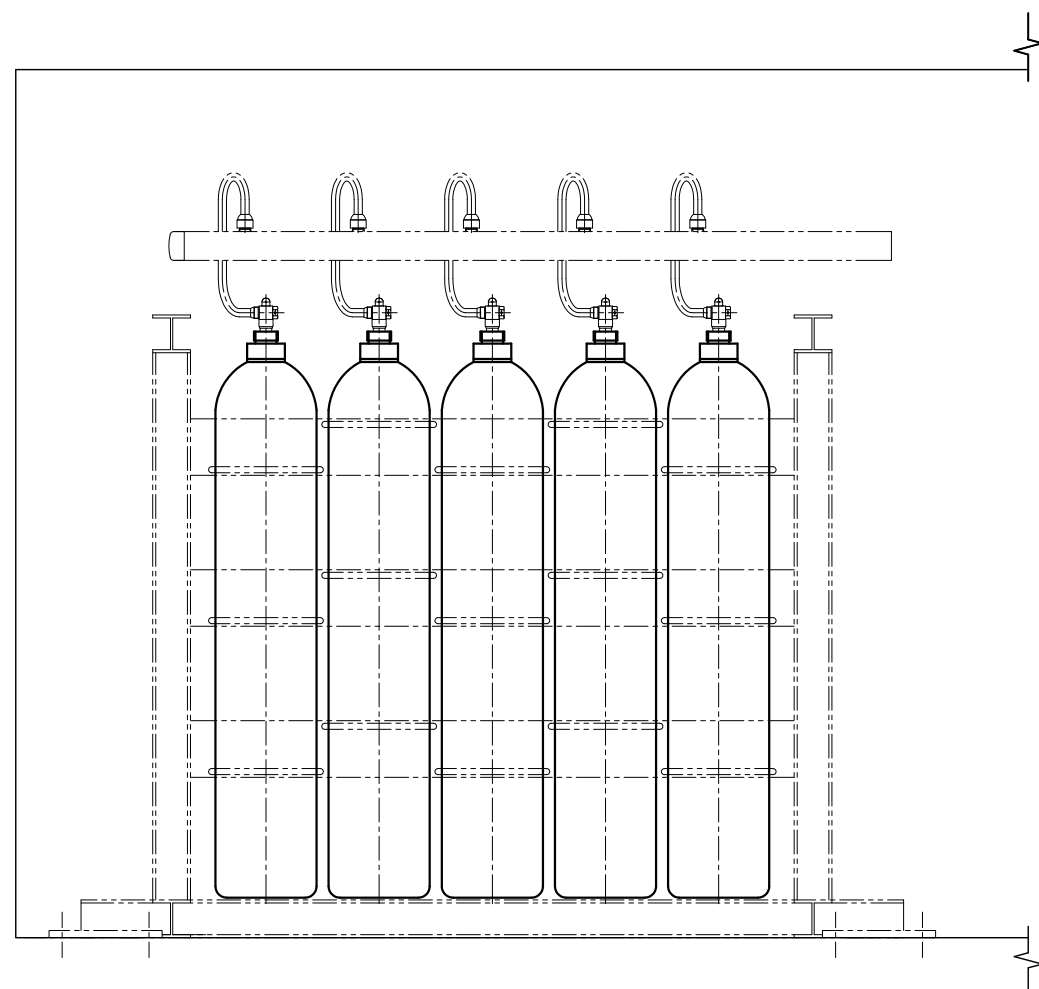
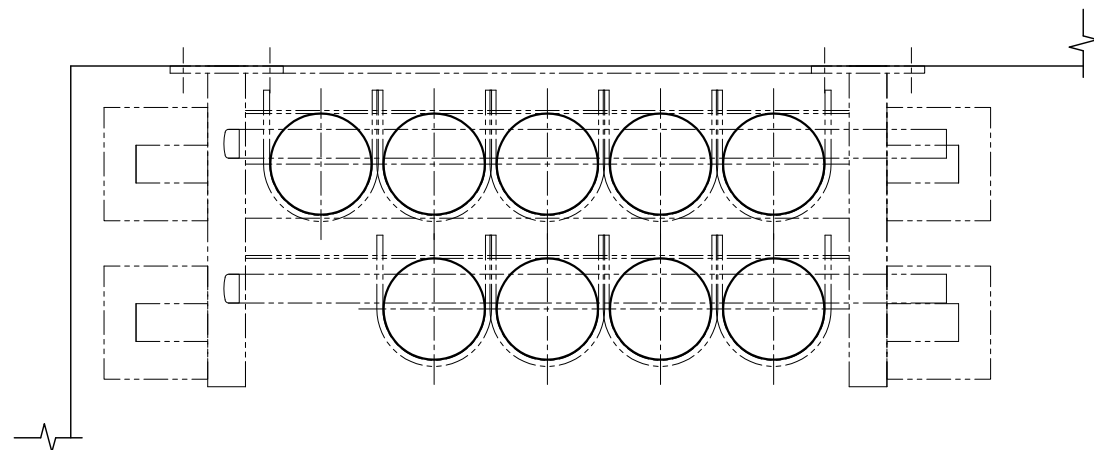
D	外径	mm
t	厚さ	mm
M	材料	

— 火災防護設備のうち消火系 (ハロゲン化物消火設備 (ガスタービン発電機建物)) (当該系統の申請範囲)

工事計画認可申請	第9-3-2-2-7-3-2図
島根原子力発電所第2号機	
名称	消火設備系統図 (ハロゲン化物消火設備 (ガスタービン発電機建物)) (その2)
中国電力株式会社	
GTGFP	NS2FP-PM02 1514

1	ハロゲン化物ポンベ*	9	SMN433
番号	品名	個数	材料
部品表			

注記\* : 68ℓ/個を示す。



注1 : 寸法はmmを示す。  
注2 : 特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第9-3-2-2-7-4-1図
島根原子力発電所第2号機	
名称	2号-ガスタービン発電機制御盤室, 2号-蓄電池室(北側), 2号-蓄電池室(南側), 2号-ハッチ室, 2号-蓄電池室空調機室, 2号-電気品室, 2号-常用空調機室用 ハロゲン化物ポンベ構造図
中国電力株式会社	
GTGFP	NS2FP-KM01 1514

第 9-3-2-2-7-4-1 図 2号-ガスタービン発電機制御盤室, 2号-蓄電池室(北側), 2号-蓄電池室(南側), 2号-ハッチ室, 2号-蓄電池室空調機室, 2号-電気品室, 2号-常用空調機室用ハロゲン化物ポンベ構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

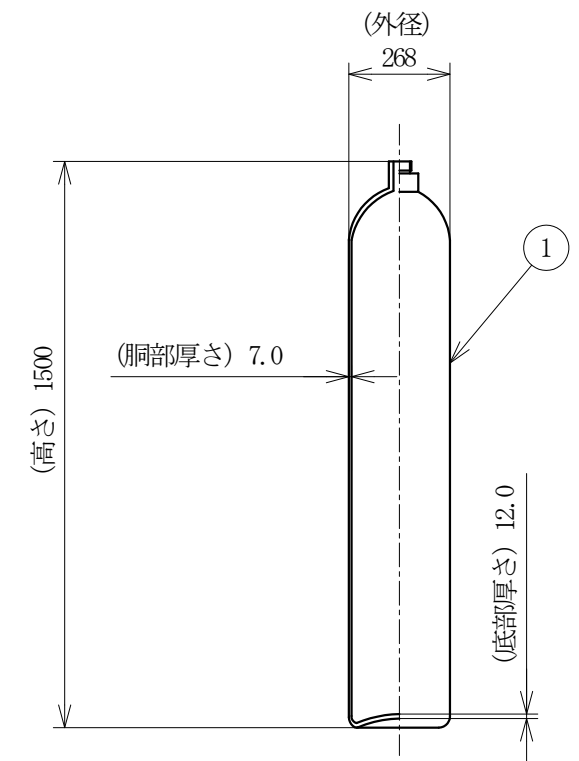
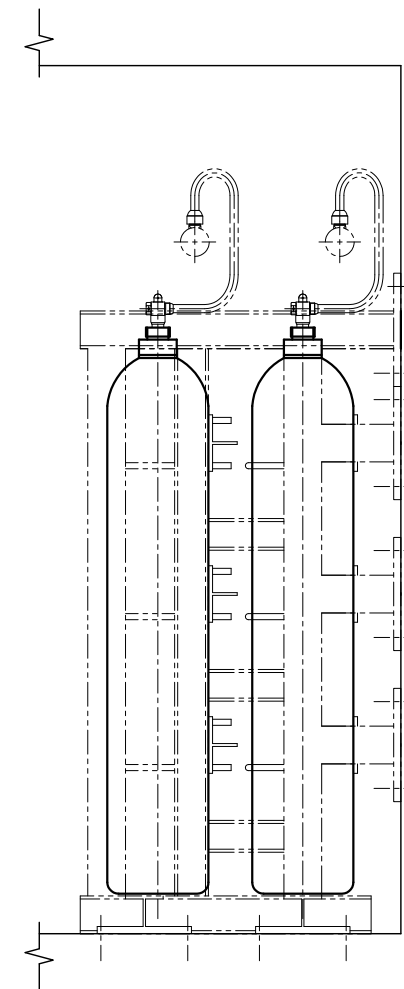
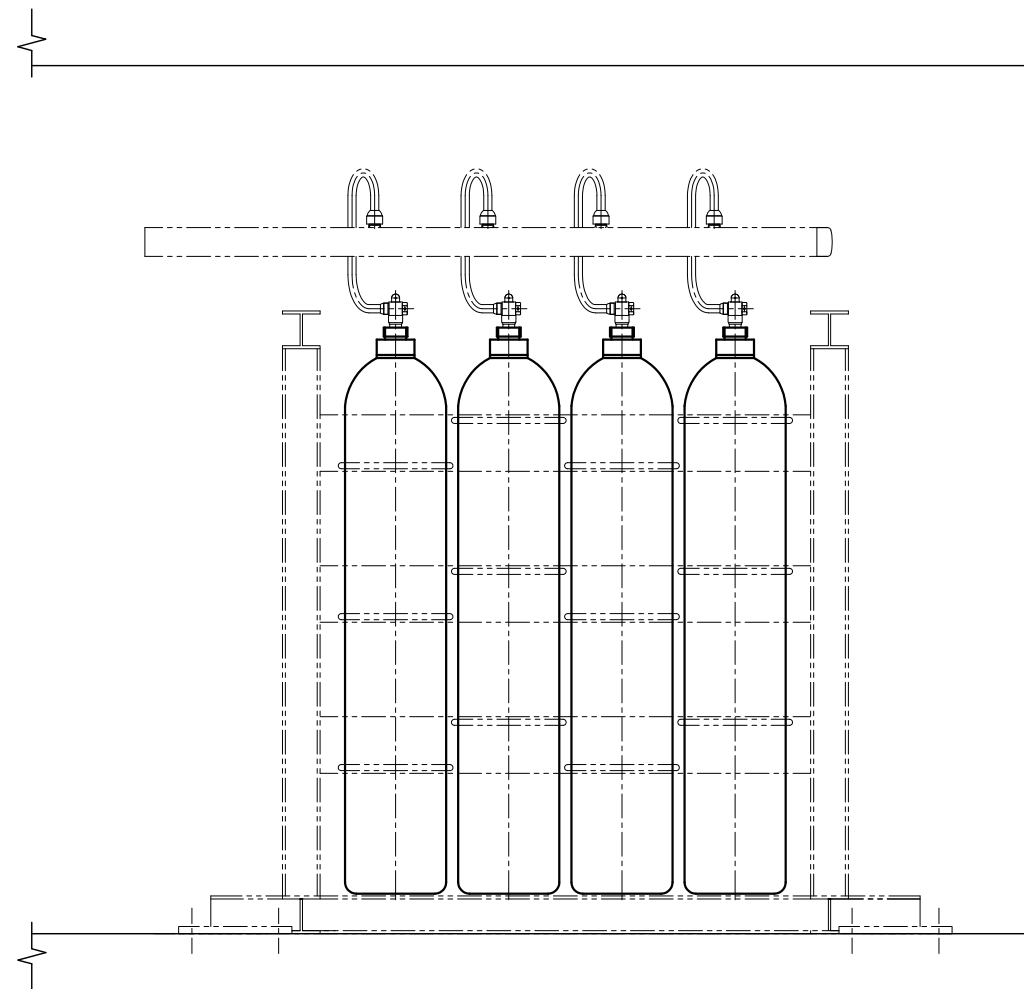
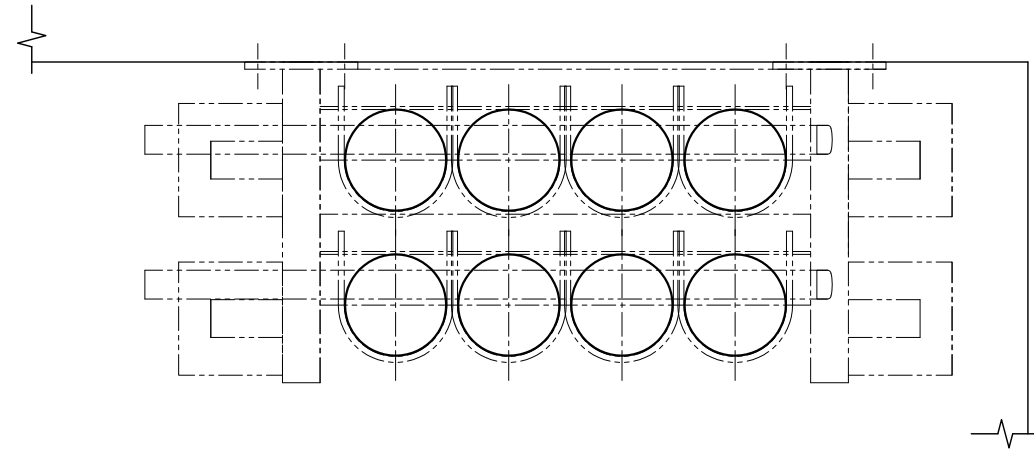
[2号-ガスタービン発電機制御盤室, 2号-蓄電池室(北側), 2号-蓄電池室(南側), 2号-ハッチ室, 2号-蓄電池室空調機室, 2号-電気品室, 2号-常用空調機室用ハロゲン化物ポンベ]

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	268	±1%	製造能力, 製造実績を考慮したメーカ基準
高さ	1500	±10mm	同上
胴部厚さ	7.0	+規定しない -1.1mm	同上
底部厚さ	12.0	+規定しない 0mm	同上

注: 主要寸法は, 工事計画記載の公称値

1	ハロゲン化物ポンベ*	8	SMN433
番号	品名	個数	材料
部品表			

注記\* : 68ℓ/個を示す。



注1 : 寸法はmmを示す。  
注2 : 特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第9-3-2-2-7-4-2図
島根原子力発電所第2号機	
名称	2号-ガスタービン発電機室用 ハロゲン化物ポンベ構造図
中国電力株式会社	
GTGFP	NS2FP-KM02 1514

第 9-3-2-2-7-4-2 図 2 号-ガスタービン発電機室用ハロゲン化物ポンベ構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

[2 号-ガスタービン発電機室用ハロゲン化物ポンベ]

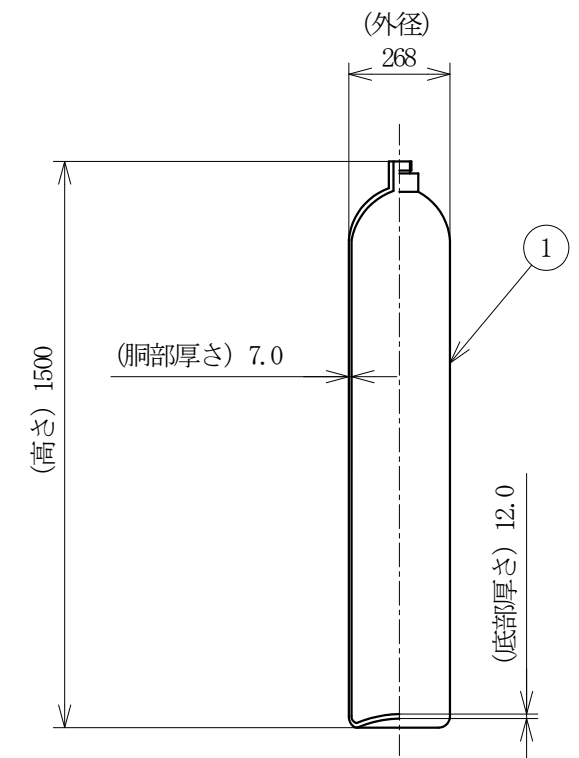
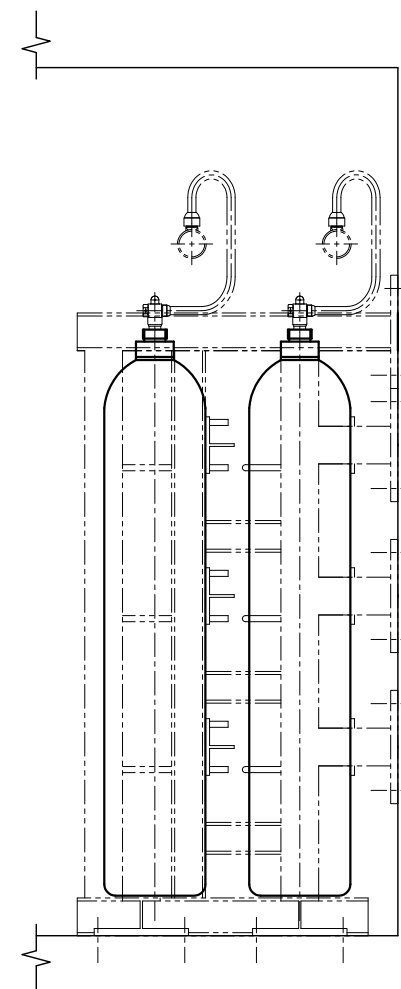
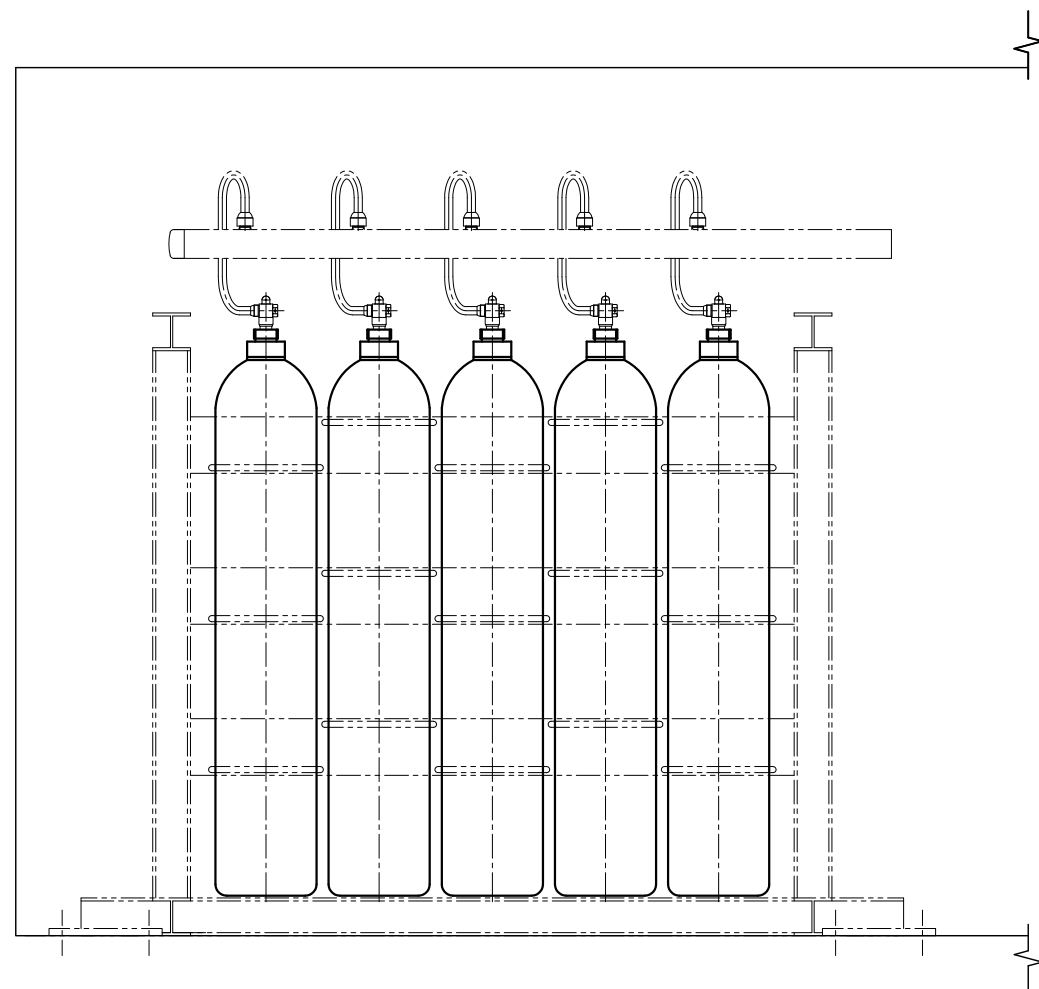
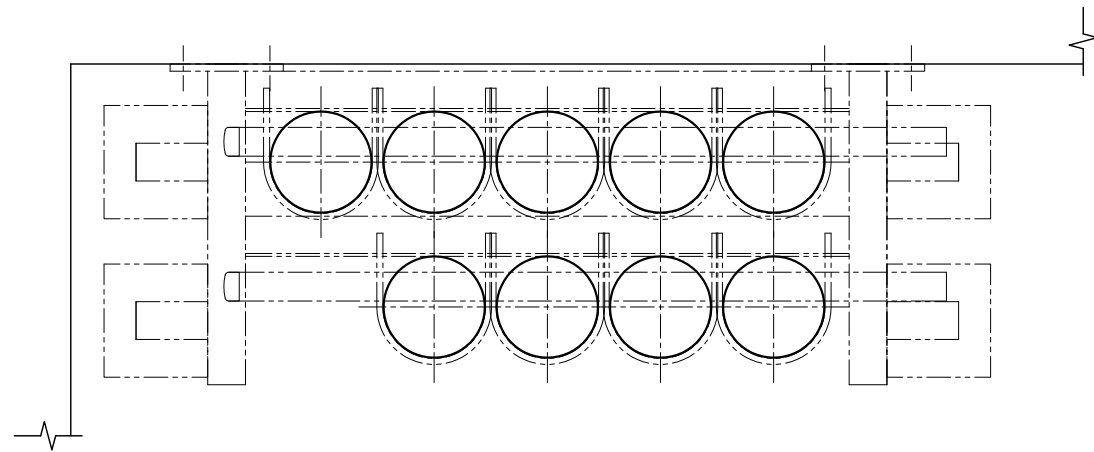
主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	268	±1%	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	1500	±10mm	同上
胴部厚さ	7.0	+規定しない -1.1mm	同上
底部厚さ	12.0	+規定しない 0mm	同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値



1	ハロゲン化物ポンベ*	9	SMN433
番号	品名	個数	材料
部品表			

注記\* : 68ℓ/個を示す。



注1 : 寸法はmmを示す。

注2 : 特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第9-3-2-2-7-4-3図
島根原子力発電所第2号機	
名称	予備-ガスタービン発電機制御盤室, 予備-蓄電池室(北側), 予備-蓄電池室(南側), 予備-ハッチ室, 予備-蓄電池室空調機室, 予備-電気品室, 予備-常用空調機室用 ハロゲン化物ポンベ構造図
中国電力株式会社	
GTGFP	NS2FP-KM03 1514

第 9-3-2-2-7-4-3 図 予備-ガスタービン発電機制御盤室，予備-蓄電池室（北側），予備-蓄電池室（南側），予備-ハッチ室，予備-蓄電池室空調機室，予備-電気品室，予備-常用空調機室用ハロゲン化物ポンベ構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

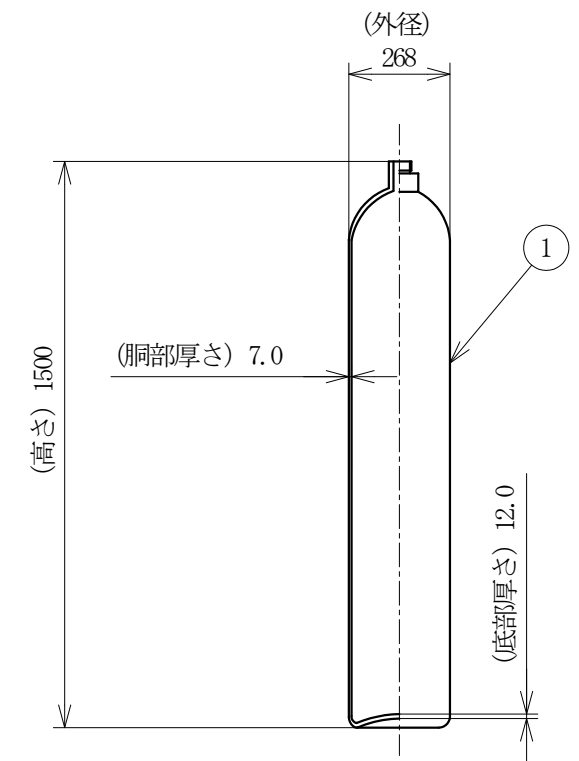
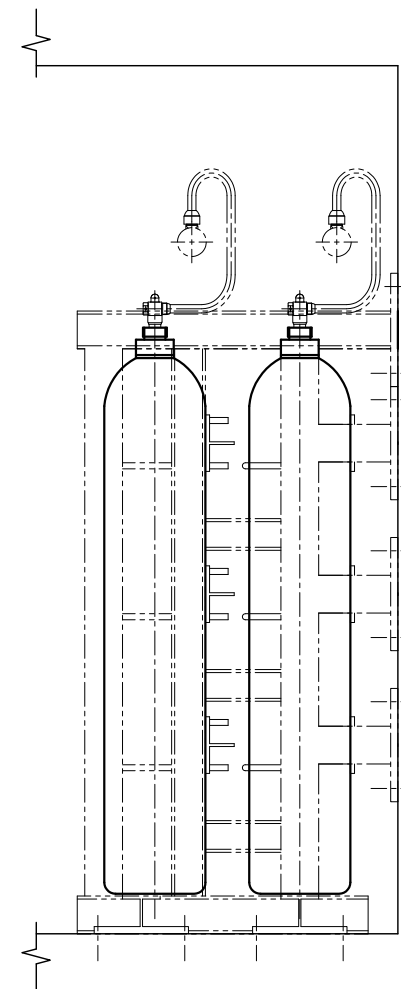
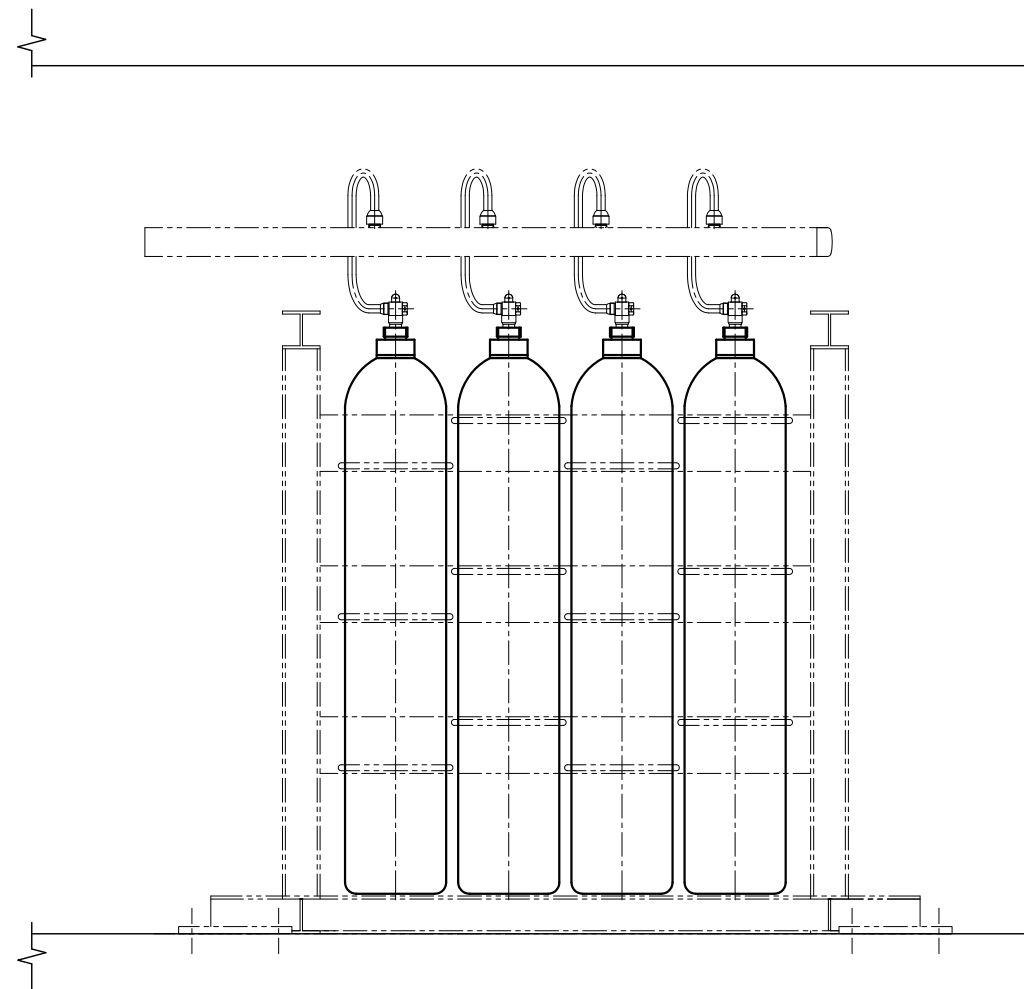
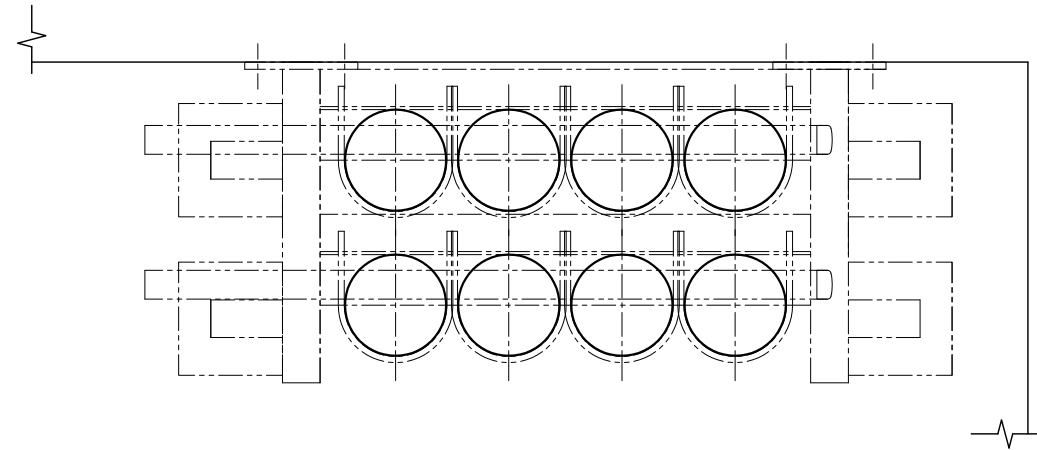
[予備-ガスタービン発電機制御盤室，予備-蓄電池室（北側），予備-蓄電池室（南側），予備-ハッチ室，予備-蓄電池室空調機室，予備-電気品室，予備-常用空調機室用ハロゲン化物ポンベ]

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	268	±1%	製造能力，製造実績を考慮したメーカ基準
高さ	1500	±10mm	同上
胴部厚さ	7.0	+規定しない -1.1mm	同上
底部厚さ	12.0	+規定しない 0mm	同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値

1	ハロゲン化物ポンベ*	8	SMN433
番号	品名	個数	材料
部品表			

注記\* : 68ℓ/個を示す。



注1 : 寸法はmmを示す。

注2 : 特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第9-3-2-2-7-4-4図	
島根原子力発電所第2号機		
名称	予備-ガスタービン発電機室用 ハロゲン化物ポンベ構造図	
中国電力株式会社		
GTGFP	NS2FP-KM04	1514

第 9-3-2-2-7-4-4 図 予備-ガスタービン発電機室用ハロゲン化物ポンベ構造図 別紙  
 工事計画記載の公称値の許容範囲

[予備-ガスタービン発電機室用ハロゲン化物ポンベ]

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	268	±1%	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	1500	±10mm	同上
胴部厚さ	7.0	+規定しない -1.1mm	同上
底部厚さ	12.0	+規定しない 0mm	同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値